愛國婦人

我君は千代に八千代にさゝれ石の
いはほとなりて苔のむすまで
――古歌――

千早振神のさためし國なれは
いにしへよりも今そさかえむ
――讀人不知――

△定價　一部金參錢五厘△一ヶ月分七錢△半年分金貳十四錢△全國無郵送料△廣告料一行六十錢――愛國婦人第百六十四號△本誌每月二回(五日、廿日)發行△發行所東京麹町牛ケ淵公園愛國婦人發行所

本號には特に各妃殿下の御肖像を本紙一頁大の附錄とせり

社說

天長節

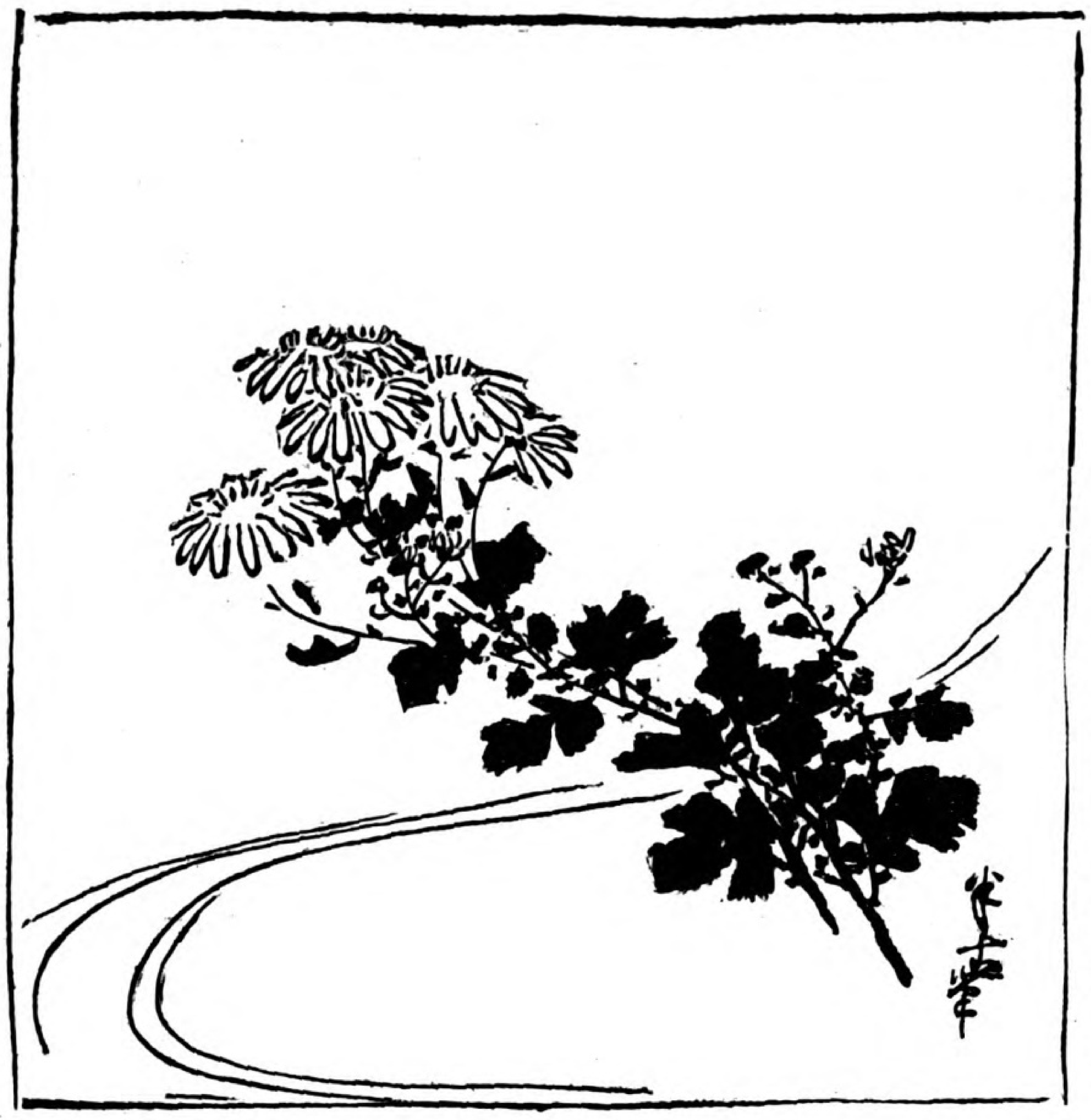
一年三百六十五日、同じ日とては、一日もなく、貴く有りがたからざる日とては、一日もなけれど、中にも、一年が、この日のためにあるが如き心地して、殊に貴く有りがたく、嬉しく、喜ばしき日、一日あり。そは天長節なり。

天長節は、國民に無限の歡喜と、勇氣と希望とを與ふる日なり。年中不平に暮せる者も、此日は喜びの笑を洩らし、床に臥せる病者の頬にも、この日は輝きの色あり。御光のさす限り、津々浦々の賤が伏屋にも、炊烟裕かにたなびきて、菊の薫かぐはしく軒端の日の丸の風にひらめくあたり、誰かは、大御代の萬歲を唱へて、この日を祝しまつらざらんや。

本日は、その天長節なり。陛下の御稜威のいやちこなるは、太陽の赫々として中天に懸れるが如く、御聖德の廣大なるは、洋水の漫々として無邊に湛ふるが如し。世界に君主ありてよりの君主、帝王ありてよりの帝王と申し奉るも、なほ足らざるか如き心地するなり。げにや、明治の御代こそは、麗はしく榮えあるものなれ。我れ等、此大御代に遇ひ、陛下の赤子として、到底言ひ盡くすべからざる厚き御惠みに浴しつゝ生活するを得るは、何の幸慶かこれに過ぎん。されば、陛下の常に御氣色うるはしく、御健かにましますことは、國民一統の至願にして、陛下が、その至願をそのまゝに、日に月にます〳〵御健かに、御勇ましくましませるを知り傳へたる國民の勇みと喜びとは、何物かこれに比ぶべき。實に、年一年と國はいや榮えゆく間に、いよ〳〵盛んなる天長の佳節を祝するを得る國民こそは、果報なれ。

されども、我が國の前途はなほ遼遠なり。抱ける希望爲すべき事業は、山の如くに橫はれり。我れ等國民は、たゞ安閑として暮らすべきの時にあらず。陛下の厚き御惠みに浴するの一方にして、何の働きもなく、仕出かす事もなくては、誠に、國民として相濟まざる儀にあらずや。國民は皇恩の萬一に報ひ奉らんことを、常に心掛け、日夜忠實にその業にいそしまざるべからず。何の遑ありて、輕佻浮華、遊惰に光陰を徒費せんや。先月下旬に降し賜ひたる詔書の如き、實に恐懼の至りにして、國民は相戒めて、何よりも先づ、服膺實行せざるべからず。盛んに、國旗を樹て、菊花を飾り「君が代」をうたひ、萬歲を唱ふるは、天長の佳節を祝する誠意を表するものとして、如何にも適當なり。されども陛下の大御心に叶ひ、御思召に副ひ奉るやう、今日唯今、國民の奮勵努力することを誓ふの、一層適當にして意義あることを忘るべからず。

幾久之花



梶田半古氏筆

天長節の由來

天長節は我が國で最も慶賀すべき大祭日の一で御座います。さて天皇陛下の御誕辰を天長節と名けて奉祝する事は、由來のあることで決して明治の御代に始まつた大節では無いのです。即ち謹んで國史を按ずるに、續日本紀三十三の卷、光仁天皇の條に、天皇御即位の後、寶龜六年九月十一日勅して曰く、十月十三日は是れ朕が生れし日なり、此辰に會ふ毎に感慶兼集る。中略海內の諸國宜しく屠を斷つべし。內外百官に酺宴を賜ふこと一日、仍て此日を名けて天長節と爲す、庶幾くは斯の功德を以て普ねく天下に被らしめん。とあつて之が我國での最も古い起源で御座います。

わが國では元來、故なく多人數の者が集合つて宴を開くことは固く禁止されて居たのでありますが、此の天長節に限つて特に其を許されたので御座います。此年から每歲之を行はせられ、次々の天皇の天長節にも內々は行はせられたものであらうが表向は中絶の姿であつたのを、明治の大御代に至つて復興されたのであります。

即ち明治元年の九月廿二日は、陛下の御誕辰に當るので、天長節として百官に酺宴を賜ひ、天下の刑戮を止めさせられましたが、此時は單に宮中の御宴に止まり、明治三年に始めて天下一般に布告して、庶衆均しく奉祝すべき佳節と制定せられたので御座います。

然るに明治六年に至り太陽曆の頒布と共に、陛下の御誕辰をも換算し奉りて、遂に十一月三日と定つたので御座います。

此日宮中に於ては賢所、皇靈殿、神殿の御祭典があつて、畢ると共にまた大元帥陛下として青山練兵場に觀兵式を行はせられ、還幸の後、皇族、親任官、勅任官の參賀を受け給ひ、內外臣僚を豐明殿へ召させられ、酺宴を賜ふのであります。

此日は國民一般に國旗を掲げ敬意を表し奉る習慣でありますが、我々は此佳節を迎ふる毎に、申すも畏けれど叡聖英武なるわが陛下の御惠みの下に、年々に發展し行くわが帝國の狀勢を思ひ、瞳は自から感謝の念に輝やくので御座います。(紳谷誠之)

菊五首

尾上柴舟

秋の氣のしづめる中を一筋の水と流るゝ菊のかをりよ

紺青の山の南の谷かげに隱者ありけり白菊の花

秋の山鳥たかく飛びかへりこず谷間の菊のたゞ白うして

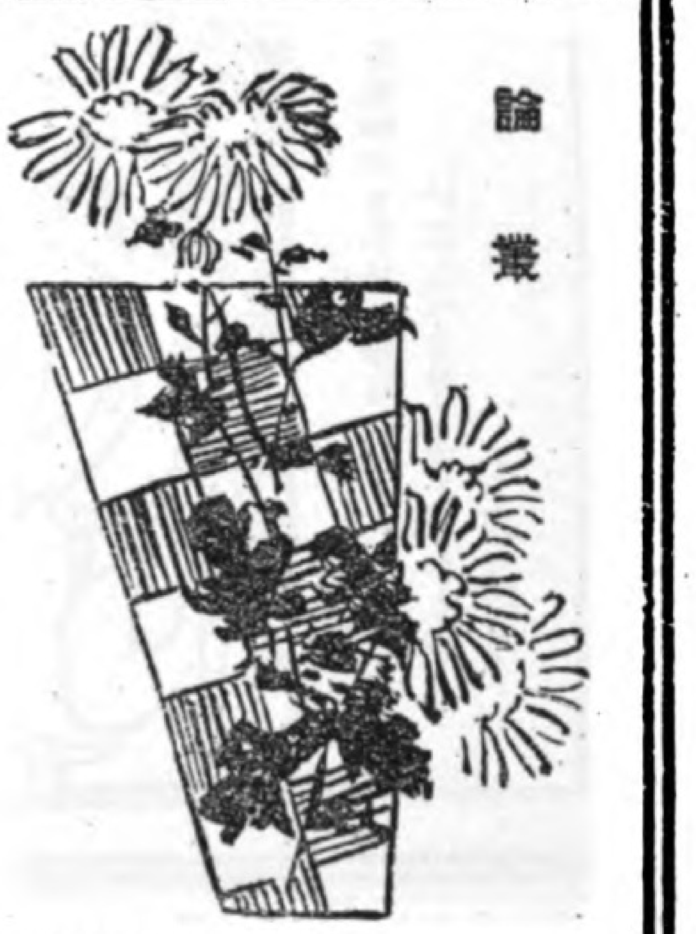
白き衣着たる稚子こそ群れて來れ菊のまがきに風のわたれば

ゆたかなる秋のひかりにしろがねの冠して立つ白菊の花

印刷人兼發行人山瀬仲夫△編輯人永持德一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

論叢



聖詔を捧讀す

佐藤正

客月十三日憲法實施の大詔を發せられたる第廿八回の紀念日を以て、辱なくも聖詔を拜するに至りしは、我等帝國臣民の恐懼感激に堪へざる所なり。

虔んで之を捧讀するに、聖意神宏、回より一言を贊する能はざれど、反覆捧讀の間、髣髴として心裡に印したる叡慮の一斑を箋解し奉るに

詔書は冒頭先づ我帝國の國是の平和を以て立つにあるを宣明せられたるものにして正に國運發展の一大指針なり。

更に第二段の聖旨を繹ぬるに、曠世の大戰後を享けたる今日、稍々もすれば人心の浮華に走るを戒め、勤儉の美風を奬め給ふ、大御心と拜察し奉る。

聖詔に宣く『戰後日尚淺く、庶政益々更張を要す。宜く上下心を一にし、忠實業に服し、勤儉産を治め、惟れ信、惟れ義、醇厚俗を成し、華を去り實に就き、荒怠相誡め、自彊息まざるべし』と。捧讀して吾人は獨り至尊をして社稷を憂ひしめ奉るの罪、甚だ重きを恐懼すると共に、陛下が方今の世局に處し、吾等臣民の協翼に倚藉し給ふ、大御心の畏さに感泣爲す所を知らざるなり。

陛下は斯くまで臣民の忠良に倚藉して以て、國運の發展を策り給ふに、男子は勿論婦女子とて徒らに虚榮に誇りて流行に憧るゝが如きは、殊に謹しむべき事なりとす。

陛下は宣へり『忠實業に服し』と。如何なる時代に於ても、人として業務に忠實を要するは勿論なれど、今日我が國の如く貳十幾億の負債を擔ふときは最も國力貯蓄の必要あり。

男子には男子の職業あるが如く、婦人には婦人の業務あり。主婦は眞に主婦としての職分に忠實なるべく、娘は誠に娘たるの本分を完うすべし。其他女教師は女教師たる自己の天職に、看護婦は看護婦たる各自の事業に、皆忠實に熱心に從事し、以て聖慮を安んじ奉らざるべからず。

顧れば今を去る僅かに十九年前、下し賜へる教育勅語の中に、爾臣民父母に孝に、兄弟に友に、夫婦相和し、朋友相信じ、學を修め、業を做ひ、以て智能を啓發し、德器を成就し、進んで公益の弘め云々、とあるも、恭謙己を持し、博愛衆に及ぼし云々、とあるも、聖旨の存ずる所、凡て[illegible]相かなへり。吾人は今にして再び此の勤儉服業の爲に、聖詔を拜戴せることを悲しむと共に、允文允武なる我陛下の大御心に恐懼感激措く所を知らざるなり。

更に詔書に宣はく『勤儉産を治め醇厚俗をなし華を去り、實に就き』と。此の聖旨を拜誦して、中心忸怩たらざる人果して幾人かある。

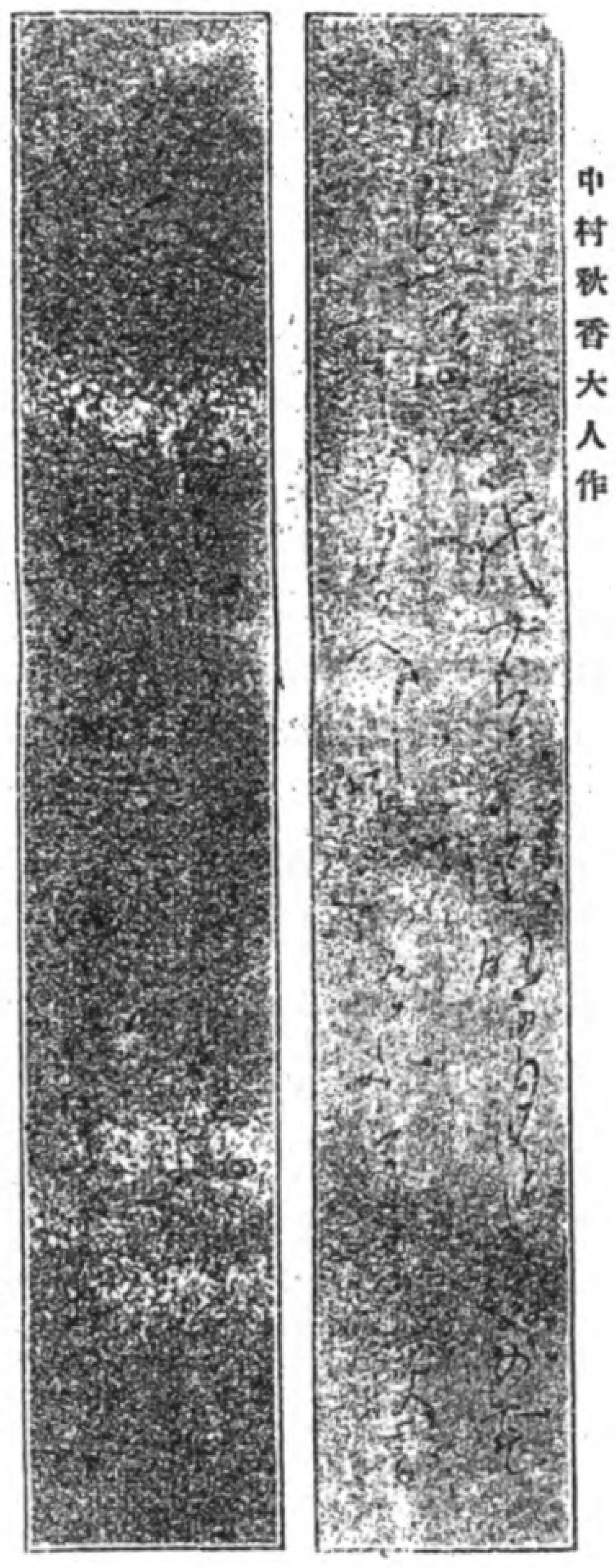
擧世滔々として浮華に醉ひ、流俗日に荒怠に赴くを見給ひし陛下の畏けれど宸襟を惱まし給ひしこと如何ばかりなりけむ。

密かに洩れ承る處によれば、帝國總豫算、經常支出部第一款第一項に計上されある、皇室費は今より約二十年前の計算に係り、諸物價約三倍以上に昇騰したる今日、加之、皇孫殿下の御生誕、新宮家の御創立併せて、列國に對する御交際又は不時の慘害に對する御下賜金等、皇室の諸經濟なか〳〵に容易ならざるを以て、毎年御增額の件に就き、御内意を奉伺するも、更に御裁可なく、本年又々伏奏に及びたれど、當時一般財政の容易ならざる時に際し、更に庶民の痛苦を增さしむるに忍びず、勤儉以て間に合すべしとの難有き御錠を賜ひければ、當局大臣も無邊無量の聖意を畏みて、恐懼措く所を知らず、其儘に退下したる由。

大御心の辱きこと斯の如し、男子は勿論婦女子たる者も心して勤儉産を治め、家政を整へ、奢侈を退け、醇厚俗をなさゞるべからず、抑も男子の放縱に流れ華美を喜ぶは、其因大方は婦女子の之を陰かに導けばなり、婦女子だに荒怠相戒め、華を去り實に就けば、男子は自然に其德に化せられ易るべし。即ち聖詔を拜せる姉妹は先づ己の德を正うし、以て忠實に婦人の天命を盡さば、庶幾くは皇恩の幾分を報じ奉るに近からんか。

天長佳節

中村秋香大人作



（短册は神田今川小路玉川堂寄贈にかかる）

修養の端緒

愛國婦人會評議員　三輪田眞佐子

わが精神を修養せんと志すもの、日に月に、多くなり行くこそ、教育の普及せし證なれ。されど、修養の目的を達すること、能はざるもの少からざるは何んぞや。蓋し、智能才藝は、容易に學び得んも、德性の修養に至りては、一朝一夕に大成すること難からんためならんか。古人も言ひけるが如く、道は邇きに在り而るに、これを遠きに求むるを以て、身に實現すること能はざるが、今日の通弊なり。即ち理想と信じて、空想を畫き、眞理と信じて、妄念を懷くものはなきか否、自ら高尚にあらざるものを、高尚と誤了して、實踐に適せざる道を歩むものあらざるか。

おのれは常に信ぜり、行の志に及ばざるよりも、行の志に先んずる女子こそ、自ら修養せりと誇らざるが、眞に修養の實あるものと言ふべけれと。先づ、人は虚心にして、誠實ならんことを、朝夕志さば、おのづから、凡俗と相異る所現はるべし。虚榮とか、嫉妬とか、奸佞とか言ふ如きは、全く心の誠實ならざる結果ならん。

次に身を攝するに法あるは、知らず識らず、精神修養の基とならん。例之ば、朝起の時間を定め、就寢の紀律を守るが如き、又は、一種の職務を執り、放逸怠惰の生活をなさゞる如き、或は、止むを得ざる外は、徒歩を試み、其の他、自己の手足を勞して物を整理し、成るべく、無益に人を使役せざる如きは、人格修養の初歩なり。

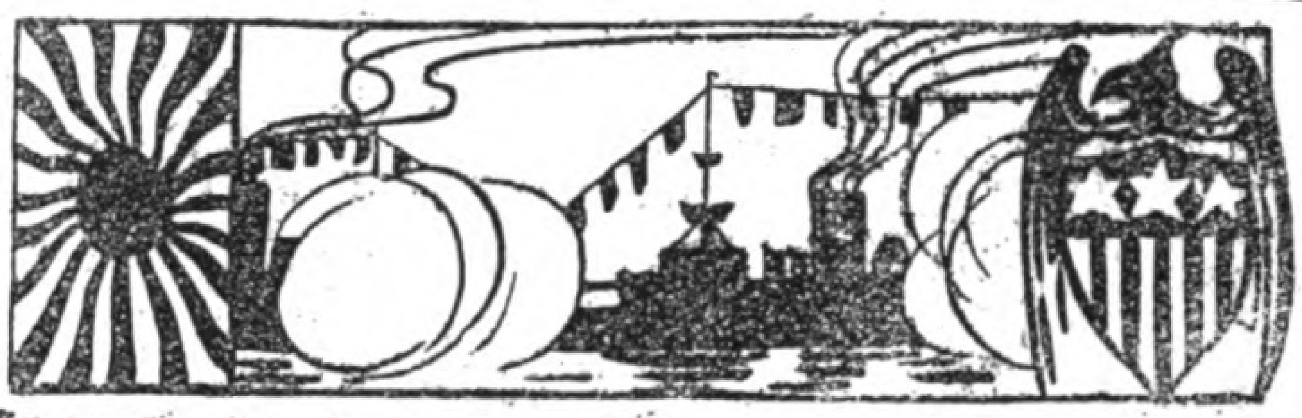
以上の如く、獨を愼むべきのみならず人に對しては親切を旨とし、慈悲と同情とを忘るべからず。眞に親切の女子と呼び、又、慈悲と同情とに富む婦人と言ひ得るに足るものあらば、確に、依頼すべき一種の人物なりとこそ、知るべけれ。

凡そ、德の害となるべきものは、私欲なり、されば、人は終始わが身を顧みて私欲に馳することなきかを戒むべし。若し、眞に私欲を去り、國家のため、社會のため、將た、人類の爲め、盡さんとする決心を起さば、期せずして、修養の工夫は成るべし。

而るに、往々、位地あるものは、位置の尊きにあらずして、これに伴ふ責任の尊きを知らず、唯、無我無心に、其富に安じ、其力に委ねて、責任を盡さんと志すもの少きが如し。これ修養を積まんとして、積む能はざる所以なり。抑も尊き者は、強ち、目に光を與ふる者に限らず全く、人格の奥に潜む修養のみこそ尊ぶべけれ。

蓋し、耳を重んじ、目に從ひて、尊きものを認むること能はざる人なきにあらず。されど、外觀の美を羨まず、他力の粟を食はず、着實に、眞面目に、わが本分を盡すを以て、修養の端緒となす。決して遠きに求むべからず。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



暹羅の女學生と英國の女學生（上）

——東洋婦人會報講演會にて——

安井哲子

遙々と故郷を後に、遠き他境に彷徨ふ時その度合にこそ差別あれ、誰れしも故郷懷しくなるもので御坐います。東京へ來て、故郷に於ては見も知らぬやうな贅澤なお菓子や料理を味はふ時、反て故郷のお芋や大根の味が懷しくなるのは、自然の結果で御坐います。

不思議な御縁で先頃暹羅へ參つて居りましたが、私が暹羅で感じた第一は故郷の水の可懷しさで御坐いました。日本に居ります間は、何の感をも持たずに、贅澤に使つて居りました水——それが、暹羅へ參りまするど。地勢の關係上得るに容易く御坐いませんでしたので、かゝる水可懷しさの感想、惹いては可懷しき祖國の水と云ふ感想が私の胸に浮いたので御坐いました。

これは眞の一例に過ぎないので御坐いますが、斯の如くに、私が暹羅で、暹羅の學生に接して居りました時、何時も日本の學生に比較しがちであつたので御坐いました。それから、暹羅での私の任務を終り、英國へ參り、彼の地の女學校を參觀致し、彼の地の女學生に接しました時暹羅の女學生に慣れた私の腦裡には種々な感想が起り、兎角この兩國の女學生を比較し。また其各を日本の女學生と思ひ較べがちで御坐いました。

私は歸朝以來、未だ日が淺くして、私の敎へて居ります學校以外の女學生がたに接する機會が無いので御座いますから、唯今の日本の學生がたの多數は何う云ふ有樣に在るかと云ふことは私には善く解りませんが、以下、私のお話を致す暹羅と英國の女學生の狀況をお聞き取りの上、彼と之との長を取り、我が女學生の短を補ふことが出來るならば、無此上幸福と思ひます。

▽服裝の差△

何人にも第一に眼につく服裝の上から暹羅と英國との女學生を較べて申しませうならば、暹羅は氣候の極めて暖かい處で御座いまするが爲め、從つて衣服は其の地質が薄くて差つかへが無いので御坐います。從つて衣服について多く費用のかゝることは無い。て、ありまするから種々の寶石やなぞて樣々に衣服を飾るので御坐います。のみならず、暹羅の人は未だ貯金なぞに關する充分の知識が無いので御坐いますから、貯金代りに、かゝる寶石や、金の指輪や腕輪をつけたり致すので御坐います。

然るに英國の學生は何うかと申しますと、土地が暹羅とは違つて大層寒い爲め英國の女學生は暹羅の女學生のやうな薄い衣服を着ては居られませぬ。何うしても厚い暖かい毛織のものを着て居らなければなりませぬ。厚い毛織のものでありますから、薄い衣服地よりも價格は貴いてありませうが、見た眼には厚い毛織物の色合は地味てあります。加之に、アングロサクソン人の特質として、凡て何事にかゝはらず、質實を主として居りまするから、學生なぞに金銀や寶玉なぞて衣服、指なぞは飾らせないので御坐います。鳥渡見た眼だけでも既に、暹羅の女學生と英國の女學生とは丼位變つて居るので御坐います。

——（大要敬記）——

毛拔用。パール　平尾分店

菊の培養

愛花

我が皇室の御紋章にさへ用ゐらるゝ菊の和名は加波良於汝木とも、加波良與茂木とも稱へ、異名を翁草、秋草の花、よわひ草、漢名を黄華、延齢客、女節、傳延年、霜下傑など、呼ばれて居る。

大納言家長卿の歌に

雲の上に菊堀り植えて甲斐國
鶴の郡をうつしてぞ見る

とある。これは夫木集に出て居るが、これに依つても菊を賞観し初めたのは今を去ること約一千有餘年の昔からのことで、爾後、寛平、寶永時代から正德、享保を經て寶暦年間に最も隆盛を極めて遂に今日の如く夥しい種類になつたと云ふ。夥しい種類は凡そ幾種かと云へば、五六千種と云ふことである。

そこで此處に菊の培養のことを述べやう。先づ十二月冬至の頃か又は翌春三月頃根分をする。

十二月に根分をしやうとするには、前以て南方に面せる日當のよき場所を選び、土地を丁寧に耕し、腐熟た下肥を施した上に少し土をかけて置く、扨て花の開いた後、莖葉の枯れ黄ばんだ株の内から太く丈夫な苗ばかりを選み植て、寒氣を防ぐために其床地の北側と左右とを炭俵又は莚にて圍み、又苫のやうなもので上屋根を設け、晴天の日には屋根を除き充分陽光に當て、夜間は夫れを閉ぢるやうにして置き、翌春までに二三回も薄い水肥を施して冬期を經過せしむるのださうである。

が、若し多數の苗を得やうとするには春期に根分けをする方が利益だと云ふことである。

處で春期根分けをする場合には三月の末か四月の初め頃前年の株を堀上げ、其内から成可く短く太く丈夫な苗を一本づつ選り分け、古根は全然取除き、長過る新根は三寸位の長さに切りつめ、それを前同樣の肥料を施した軟かく暖かい土地に植え付けるのである。併し冬至に植分したものと春期に根分したものとを問はず、何れも春暖の頃苗を伸びて六七葉も出たならば四枚の葉を殘して新芽を摘み、此新梢が其側から二三の新梢を出させ、次第に伸びて六七葉も出たならば四枚の葉を殘して摘心すると云ふやうにして行けば、次第に多くの枝梢を出すからして之れを五月の初め頃一株二三本づゝ花壇に本植して後も、菊の生長に從つて土用までは自分の枝分しやうとする數になる迄二葉若くは四葉を殘し、怠らず摘心を行ふので、又花蕾の出るやうになつたならば、一本づゝ篠竹を立てゝそれに結び付けるのである。

最後に花壇のことであるが、花壇は菊を本植する前に着手するので其方向や大さは庭の都合で一樣には行かぬけれども先づ前方を正南に、長方形に作り、地平より五六寸の高さに土地を盛上げ、其面を平に壓迫して置て三列に横線を引き、其線上を距離三尺ほどに、直徑一尺二三寸深さ八寸位の穴を穿つて、其穴に充分腐熟した肥料を投じ、日光で乾かしてから本植し、又開花の際には花壇の北側や左右は葦簾か莚で圍み、又洞油障子若くは苫の屋根を設け、夜間は前方に障子を立てゝ外氣の寒さを防ぐやうにすれば、數十日の間は能く清香を放たしめることが出來るのである。

更に附け加へて云ふべきは注水のことである。注水は夏月汲み置きの日向水を毎日夕刻、土地の乾濕に應じ一定の分量で與へる他、無暗矢鱈に汲み立ての冷水などを與へてはならぬ。又肥料も餘り多きに失すると下の方から葉が次第に枯れて來るから、花壇へ本植後は生育の模樣を見計つて施肥するが宜しい。

年々に菊また古し菊の花　蓼太
白菊や庭にあまりて畠まで　蕪村
山風や板戸たふれて菊の上　曉臺
水上は道なき菊の匂ひかな　闌更
曉や菊の露ちる御幸町　白雄

パール　平尾分店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日々の心得

法學博士 農學博士　新渡戸稲造

▽みこし主義

講者は近眼てある。近眼のひが眼かは知らぬが、講者は現今の倫理道德の教は兎角みこし道德てあるかのやうに思ふ。但しみこし道德と云つても三越道德と云ふのては無い。見越道德だと云ふのてあります。

賢母良妻主義とか云ふことが盛んに唱へられる。誠に結構なことてあります。講者は或る女學生に尋ねた。現今學校て何う云ふことを教へられるか、と斯う聞いたのてあります。すると、何てすか、妻君になるには斯うの、阿母さんになつた時には何うするの、と斯う答へた。

成る程、賢母良妻主義結構てある。が賢母良妻の教に先立つて、今少し手近く必要な緊急な教は無いのてあらうか。國亂れて忠臣現はる、と云はれて居るが、斯う云ふことばかり吹つ込まれて居ると極端に云へば、忠臣の出づるを見る爲めに、心私に國の亂るゝを待つと云ふやうな不心得のものゝ出ぬを保證し得るてあらうか。但しは又た平時には忠臣の必要なしと曲解するものなしと保證し得るてあらうか。

講者は賢母良妻主義に先立つて、手近き日々の必要な教のあることを感じ、この教が丁寧親切に說明せられる必要ありと信ずる故に、現今の教は少しく先を見越し過ぎた教てあるとの意味て見越し道德と云ふたのてあります。

▽有難いと思へ

そこて、日々の心得の第一は何かと云ふに、日々を有難いと思つて暮せと云ふことてある。

あゝ雨が降る、有難い。これては定めし米や麥が好く熟することてあらう。と斯う思へと、講者は斯うお勸めする。この有難いと云ふ感が、あゝ雨か、可厭しい喃、と云ふ感とは全然違ふ。

講者も勉て、日々この有難いと云ふ感を持つやう〳〵と修養して居る。朝起る此起る時、あゝ有難い、今日も無事滿足てある、親近の人のうちにも病人が無い吁有難いことてある。と、斯う思つて起る。すると、此有難い感の爲めに不平も無く何の不快の感も無く、その日を樂しく送られるのてあります。

▽不快を避けよ

第二には不快な事物に對して眼を瞑つて居ることてある。

如何に勉めて有難い〳〵と思つて居ても、不快なことに出逢ふと、不知、有難いとは反對の不平の感が出がちてある。だから勉めて、眼にも、耳にも不快なことの這入らぬやうにするが宜い。

▽嫉むべからず

眼からも耳からも不快な感の這入らぬやうにして置いても、兎角、人は心と不快を製造して困る。この心に不快を製造する原因は、嫉み心にある。男子の方はそれ程てないが、婦人の多數の方々は、一日の大部分を嫉み、羨みの裡に送るやうに思ふ。一日十二時間のうち、十時間まて、否十一時間——三十分までこの嫉み羨みの心に驅られて、不快の思ひもすれば、折角有難く思つた感も忘却する。恐るべきものてあります。てありまするから、日々の心得としては、心の底に不快の念の湧かぬやう、人を嫉まぬやうにするが肝要のことゝ思ひます。

——東洋婦人會報講演會にて同博士講演要領筆記——

家庭衛生

臺所中心主義

ドクトル　川瀨元九郎

一、

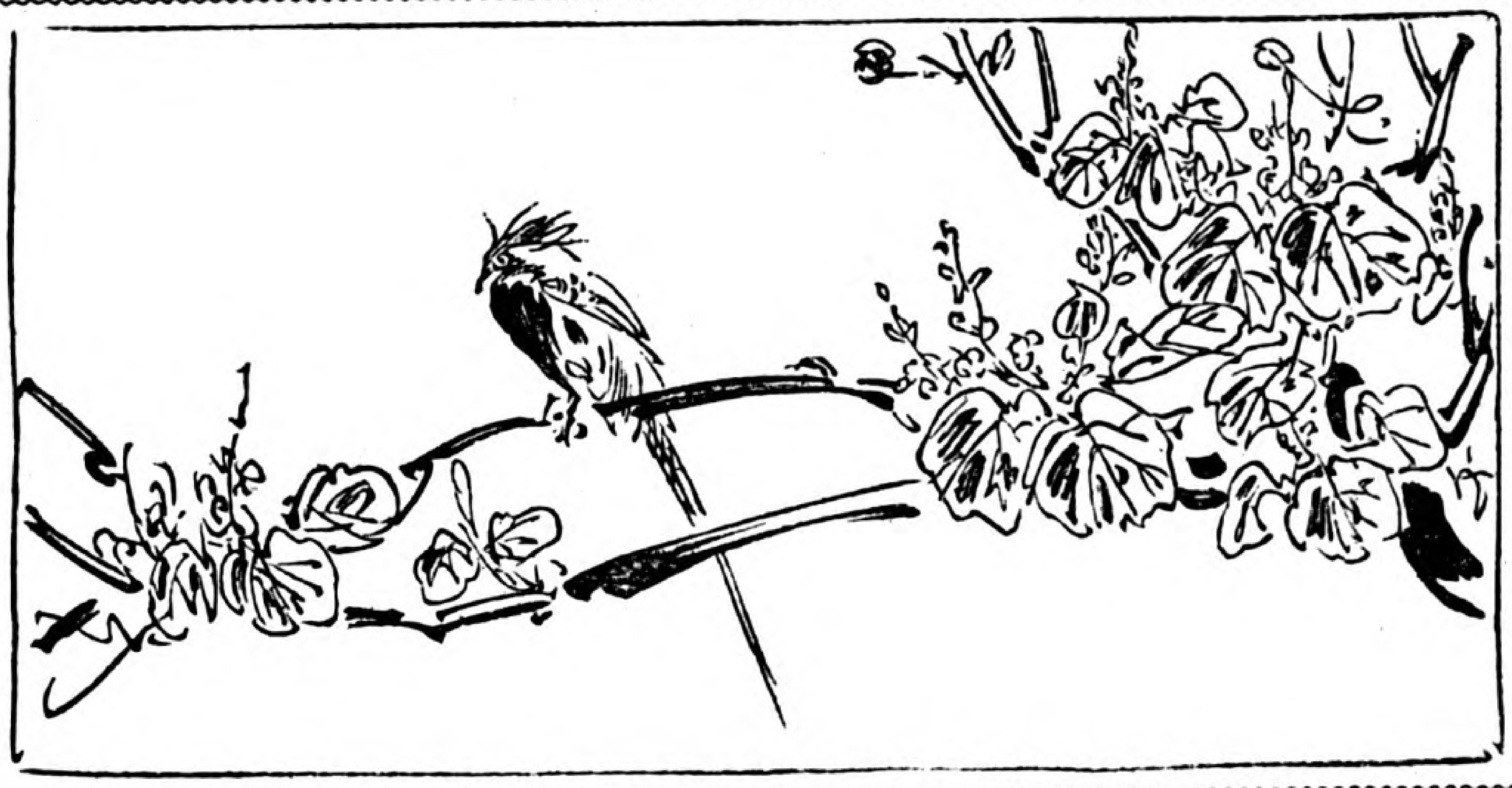
多くの人が、口に筆に、議論もし、說明もして、我國家庭の改善を主張するのてありますが、さして其效もなく、たゞ此のみは習慣を株守してゐるのは、實に遺憾な次第てあります。私の考ふるところては、出來るだけ、缺點と見たらば、其を打破して、改善の實を擧げねばならぬと思ひます。

先づ改善すべき家庭の缺點は、甚だ多いのてありますが、其中ても、此臺所と云ふ事は、家屋構造上に於ける最も注意を要するところてありまして、最も速に改善を要するところてあらうと思ひます。從來我國の家屋構造上の一般は、どうかと申しますれば、第一は玄關、第二には應接室、次には客室と云ふ順序て、金も費し、裝飾もするのてありますが、家族の居室の如き、北向の寒い室に宛てるのてありまして、其臺所に至つては、更に陰濕なところを選び、甚だしきは便所の隣て、一年中日光の當らない、北風吹きすさぶと云ふが如き位置を宛てるのてあります。

西洋文明國てはどうてあるかと申しますれば、一般の傾向が、出來るだけ臺所に親しむと云ふやうになつてゐる。つとめて美しく、つとめて心持ちのよいやうに出來てゐるのてあります。即ち此臺所に家族が親しむやうになれば、自ら其が改善も實行されるのてありますが、先にお話したやうな位置に於いてはとても其に親しむ事が出來やう事は思ひ寄らず却つて現在に於いては、遠ざから事をつとめて居るのであります。

二、

家庭衛生上から見ましては、家屋中で最も重要なる地位を必要とするのは、云ふまでもなく臺所であります、家族の生命を司さどるところで、此をあやまらば、種々なる病氣が發生するやうになるのてあります。



それてありますから、臺所構造上の注意を申しますれば、先づ第一は日當りのよき位置を選ぶ事てあります。陰鬱ならざるやう設備する事、出來ればストーブ位の設備もしたらよろしいだらうと思ひます。室内が暖かで、居心地がよろしければ、自然に家族が其處に集まるやうになり、從つて女中の監督も十分に行き届くやうになり、臺所の流し許の惡臭も除く事が出來るやうになるのてあります。殊に理想的に申しますれば、臺所の床と壁とは、板てせぬ事、板てすれば不潔なものが多少浸入して拭いても取れぬと云ふやうになるのてありますから、瀨戸物てする事が必要てあります。瀨戸物てする事となれば、莫大の費用を要する事と思ふ人もありませうが、實際に一坪三十圓内外にて出來るのてありますから、應接室の修飾に幾千圓を費すやうな建築には、臺所に一坪三十圓内外の費用を宛てるもさ程に苦痛てはあるまいと思ふのです。

三、

臺所を美しくすれば、如何なる利益があるかと申しますれば、衛生上の利益は云ふまでもなく、家庭整理の上に、子女教養の上に、或は經濟上より、ひいては社會風教上に大なる利益がある事は、私の堅く信ずるところてあります。先きにも申しました通り、臺所が美しくなれば、隨つて主婦自ら手を下す氣になるのてす。惡臭鼻をつくが如き臺所ては、誰しも出入する事を厭ふのは當然な事て、たとへ東洋風流の君子は庖廚に遠かる的の感化がないにせよ、自ら手を上すの不愉快なる事は、最もな次第てあります。

主婦自らが親しく手を下す事となり、自ら料理をする事となりましたら、自然にすべての事が清潔に行はれ、粗雜な事がなくなるのてあります。更に子女をして手傳せしむる事が出來るのてあります。此よりお嫁にゆくと云ふ令孃を不潔な手に油じみた顏つきにさせるのは、親として忍びざるところてあらうし、あたりが綺麗てあれば、したがつて子女共の手傳も出來るし、隨つて料理の事も覺え、隨つて家事實際の練習も出來るのてあります。學校て學んだ料理も、此處て復習が出來る事となるのてあります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

詞叢

幾久の波奈（上）

三宅花圃

花といへば、大方美はしきか中にあはれなる趣を備へたるをめでてぞいふ。櫻も雨にめでて、風に散るさまをうたひ、梅も落梅の朧月いかにみやび男の心を動かすらむ。牡丹も市松なす油障子にものものしく取圍はれたるはいはじ、瓣のくづるゝやうに雨にそぼちたるはいはむ方なく趣あり。

春のうら〳〵と日の光もかすみたるに比べては、秋の氣色の空高う清らかなる青雲に、一行二行雁のなきゆくに、まばゆき斗り紅葉したる下照るかげのあざやかなるあたり、黄菊白菊つぶ〳〵と咲出たるは、我皇室の御紋章を連想するまでもなく、何となく崇高なる感をよび起すやうにみゆるぞかし。風には散らむ憂もなくて、長月の長きよはひの、例にひかるゝに、雨のぬれ色もさのみあはれおぼゆるけはなし。千百の花をつけて大宮のうちに咲ほこりたる花は中にもちりの世のものならず、天津星かとあやまたれぬる。いにしへより、こは菊てふ菊の光をしめたるほまれに、花さへ香さへめでたき限りなりけり。

二千七百餘年前、開化天皇の頃、菊合の儀行はれて、この花はこよなきほまれを負ひ、選二進菊中各四本一、栽二西方庭一と、あるは雲井の園ににほひ出たるふるき例なるべし。天曆御時、后の宮の御方に菊植させ給ひける日、うへのをのこども、歌つかうまつりけるついでに、ものさせ給ひける御製に、心して霜の置ける菊の花千世にかはらぬ色とこそみれ、と、うたはせ給ひけるも、紫式部の、菊の綿を給ひて拭ひ捨てよとのたまはせ給ひしに菊の露わかゆはかりに袖ふれて花のあるじに千代はゆつらむといはひたるなど、かの慈童の七百餘歲のよはひはとまれ、この花としいへば、いはひの意をこめぬは少なかるべし。

菊のいろいろ

由來　菊は古名をくゝと云ひ、古くより栽培したれども、我が國のものにはあらで、朝鮮より移植せしものなりとぞ。されば朝鮮にても菊をばくゝと云ふ由歌にも古くより詠まれたり。

五菊　鵝毛、玉牡丹、御愛、醉楊妃、京太白の五種をば斯く稱す。支那より始めて筑前の博多に移植し、後ち漸次に諸國に傳はりしものなりと。

洋菊　夏菊と秋菊との二種あり、花は紅黄內朱紫種々ありて美くし。

珠數菊　秋の末つ方花を開く、黄色、白色等にして大小一様ならず。

寒菊　珠數菊の一種にして黄多く、形小なり。

翠菊　種蒔の季節によりて越年草と一年草とに分つことを得。前者は夏月に開き、後者は秋月に開く。

野菊　油菊ともいふ。山野に自生し黄を粧ふ。花を採り乾して枕に入るゝに香氣ありて良し。

濱菊　海濱に自生すれども培養にも適す。

小濱菊　晩秋白き花を開く、老ゆれば淡紅紫色となる。多く北海道及陸奥の海濱に自生す。

除蟲菊　培養して莖葉を採り、粉となして蚤及害蟲驅除に使用す。莖葉共に強し。

お菊蟲

末摘花

慶長の昔、常陸の紫津久と云ふ處に、白館殿と非常に勢力ある豪族があつた、白館とは其眞白に塗り立てた宏壯な城に對しての通り名で、其處には常に數千の強者が籠つて居て、近隣の國司城主を苛め散らす。其勢の猛烈さは實に目醒しい狀態であつた。

哀れに美しい物語は此の白館城の裡に包まれて居る。

白館の奥女中にお菊と云ふ愛くるしい少女があつた。芳紀は十六夜春の朧月、花ならば未だ咲き初めぬ桃李の若枝。誰か彼女の和らかなる少さき胸裡に、燃ゆるが如き怨讐の念が密んで居ると知つたものがあらうや。

誰か乎また彼女の往年、白館の爲に不意討をくつて無念の最期を遂げた、常州鹽影の城主筑波內匠頭が唯一の息女白菊姬と知つた者があらうや。

奥女中お菊は實に白菊姬が臥薪嘗膽の暫久の化身であつた。

姬が健氣たる復讐の一念は、いつかは天の享くる處とならねば止まぬ。

然し乍ら付けねらふ仇は、堂々たる七尺の巨傑、昇天の勢ある白館の城主である。世が世ならば、筑波內匠頭鹽影の城主が遺愛の息女も、今は唯一人賴む身も無き、か弱き少女の而も敵の中なる孤獨の力、龍車に向ふ螳螂のそれにもました危うさである。

中秋の空月澄み渡る白館の隅窓に、北の方天そゝり立つ筑波の峯を眺めて、彼の影こそは懐しの故鄉、思出多き鹽影の山と、人知れず袖濕ほすも幾度か、日は空しく逝いて機は未だ至らず、姬は三年を城中に過したが、端しなく姬が父の讐の母の怨はた義に殉した家黨等の仇を討つべき時は來た。

飽まで豪放て飽くまで精悍な城主の、何とした弓の狂ひにか、彌生なかばの朧月夜に、ふと姬を垣間見たが運のつきと知るや知らずや、姬が献むる盃に醉ひつぶれて前後不覺の折こそ佳けれ。

不倶戴天の讐人、今こそ思ひ知れと心に筑波大權現を祈りつゝ、懷劍拔き放つて胸元深く刺し通した。

夜討!? 夜討!? 長夜の宴に疲れて圓かに結んだ夢を破られた城中の強者、宿直の面々、流石に名を知る武士は多かつた。敵はと見て驚く彼方に血刀下げた姬の、艶やかな黑髮一糸も亂さず、聲ほがらかに、筑波內匠頭が息女白菊、天祐に倚つて今夜家の仇を討つ、主を想ふ者は出よと名告つた姿の凜々しさ神々しさ。

鬼にも淚はある況して義に强き常陸武士の何として此の健氣な少女が討てやうぞ。現在主を殺され乍ら、暫久互に顏見合せて當惑氣なのも武士の情であらう。

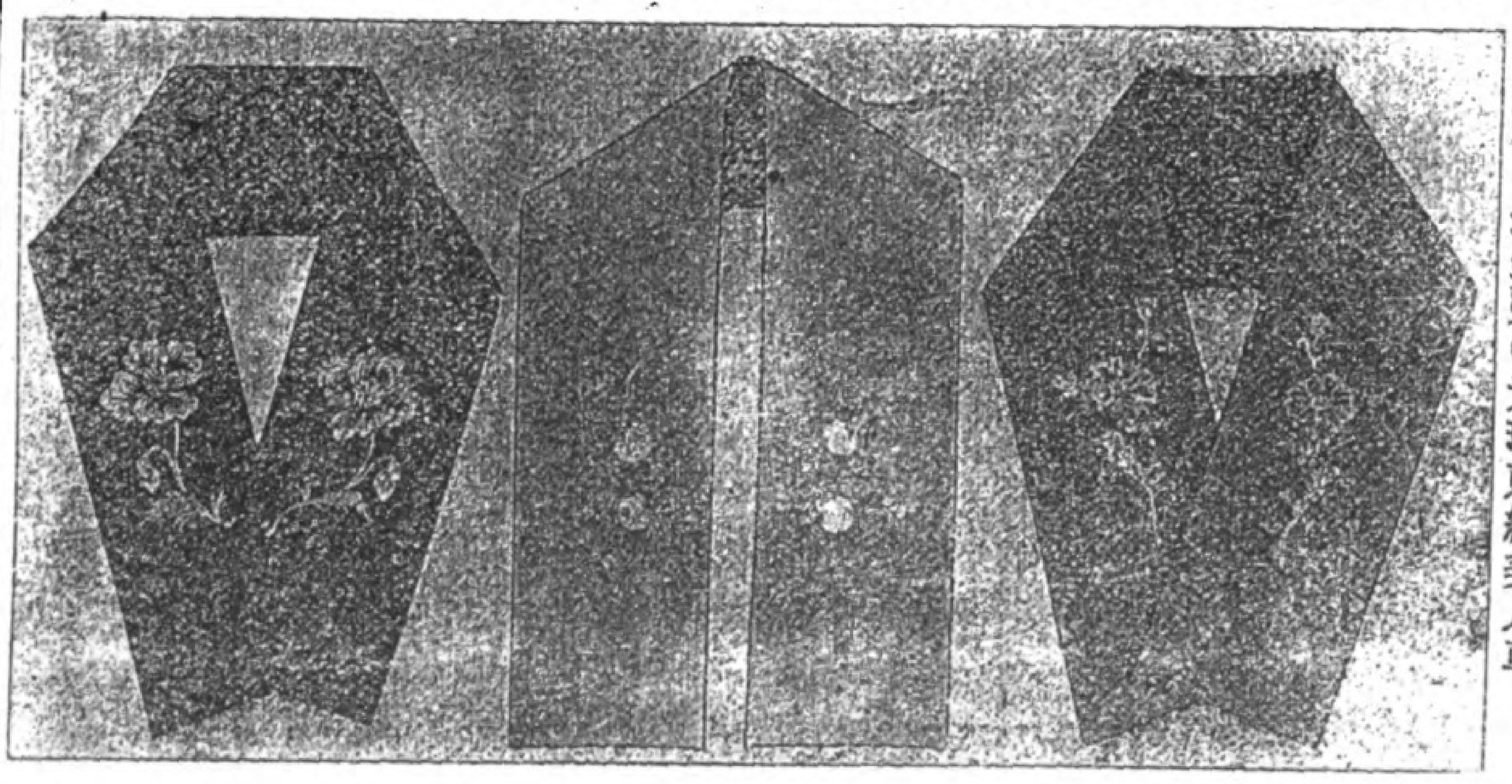
と見て取つた姬は莞爾と笑つて、さらば斯うよと、今は此世に思ひ殘す事も無き身の懷劍、玉の咽喉に當てると同時にひらり庭前に飛び下りて、美しい姿は井戸の中に隱れた。

一朶の牡丹は咲きも揃はぬ十七の春を一期として白館の城中に萎んだ。

不思議や其夜より夜毎に、井中より紫の雲湧き上つて、異香四邊に薰り、暫久の後、其處に美しい見馴れぬ蟲が澤山集つた。誰云ふとなくお菊蟲の名が附いた。

美譚は此處で終つたが、筆を擱くに當り一寸斷つて置きたいのはお菊蟲の事である。お菊蟲を彼の有名な皿屋敷のお菊が怨靈とするのは、市井の俗說で元より取るに足らない。

本年流行の新意匠御半ゑり
季節向今様好み
奥様方　御令孃
意氣向き



右より
其三　地色は茄子色菊花模様
其四　仝　光琳鼠柿の縫模様
其五　仝墨藍の光琳刺繍美人草

ゑり善

特に模様色合等流行の新製品種々取揃へ有之候間何卒御用命の程願上候

東京日本橋區堺町通ふきや町
電話浪花千二百七十番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

世界烈女傳

▲前田利家の室……（日本）

天正十一年世は麻と亂れて、群雄諸國に割據する秋、前田利家城砦を加賀及能登の境なる末森の要害に築き、奥村永福をして守らしむ。

十二年八月佐々成政織田信雄に應じ、精兵一萬數千を率ゐて、突如として來り末森城を圍めり。奥村永福僅かに三百の城兵を督して拒戰ふ。敵兵勢ひ頗る鋭し。城兵克く防ぐと雖も漸く疲れぬ、永福將士を集めて自殺せんとす。

永福の妻加藤氏優姿麗容、羅綾に堪えざるが如くにして、内燃ゆるが如き熱血を有し勇武絶倫なり。慨然として曰く、

『などさは死をば急ぎ給ふ、弓折れ矢盡きて而る後死すとも晩からじ、生は得難く死は易し、此城一たび陷らば、本城金澤亦た危しと知し召さずや』

斯くて自ら紅の裳をかゝげ、白鉢巻甲斐〲しく、薙刀かい把りて立つ、凛々しき姿平素の優しきに似ず。更に兵士を勵まして曰く『昔者楠氏は千早の孤城に關東百萬の大軍を拒ぎ遂せりと聞く。斯ばかりの小敵、何程の事かあるべき、況して援軍明日は必ず到着せん、勉めよ者共死力を盡して加賀武士の名を揚げよ』と、侍女を率ゐて城内を巡り、怠れる者は諭し、闘へるものを勵まし、饑えたるは自ら食はしめ、疲れたるは酒を進む夫人の心盡し如何てか城兵の感ぜざるべき。城中の士氣頓に上れり。永福之れを見て喜んで立つ。

『健氣なるわか妻の振舞かな』

更に城兵を鼓舞して曰く

『加賀武士の名を揚ぐるも汚すも汝等の一擧手一投足の行動に係れり、奮へよ勇めよ。汝等のみは殺さじ、我も死せん、死するも生くるも城中、皆諸共ぞ』

義に勇む城兵等は泣いて振へり。皆言ふ『死なてこそ』

敵軍焦つて攻むること愈々急なり。永福等退いて牙城を守り、押せども動かず、突けども碎けず。死力を盡す。

＊　＊　＊　＊

前田利家變を聞き蹶起して、長子利長に留守を命ず。利長拒んて應ぜず共に出て戰はむと乞ふ。利家之を壯とし更に將士に令し、自ら甲を附け馬を曳きて立つ。夫人謹みて戰捷を祝ぎ門出を賀し、更に儼然として衆に告げぬ。

『汝等勇奮して敵を逐ひ拂へよ、城にして陷るならば皆死ぬべし、我も敵の辱しめをば受けざるぞ』

將士唯々として自ら決する所あるものの如し。夫人はまた利家に對して言へり

『城若し陷らばわらはは亦た君に見え候はじ』更に利長に告げぬ。『御身も今を別れと思へ』

夫人が此の慨然たる意氣は如何に將士の心を得たりけむ。氣はなはだ昂れり。父子鞭を揚げて驅け出づ、既にして將士逐ひ來る其數六千、利家分けて二軍となし、全軍猛然として殺到す、縱横奮擊呼聲天地に震ふ。

『援軍來！　援軍來!!』

城中の歡乎雷の如く敵軍皆駭き先を爭ふて潰え走る。

永福の城を保てるは其妻鼓舞の力に據り、利家が敵を破れるもの、亦其室激勵の力に他ならず、當日の軍功正に二烈婦を推して魁首となす。（完）

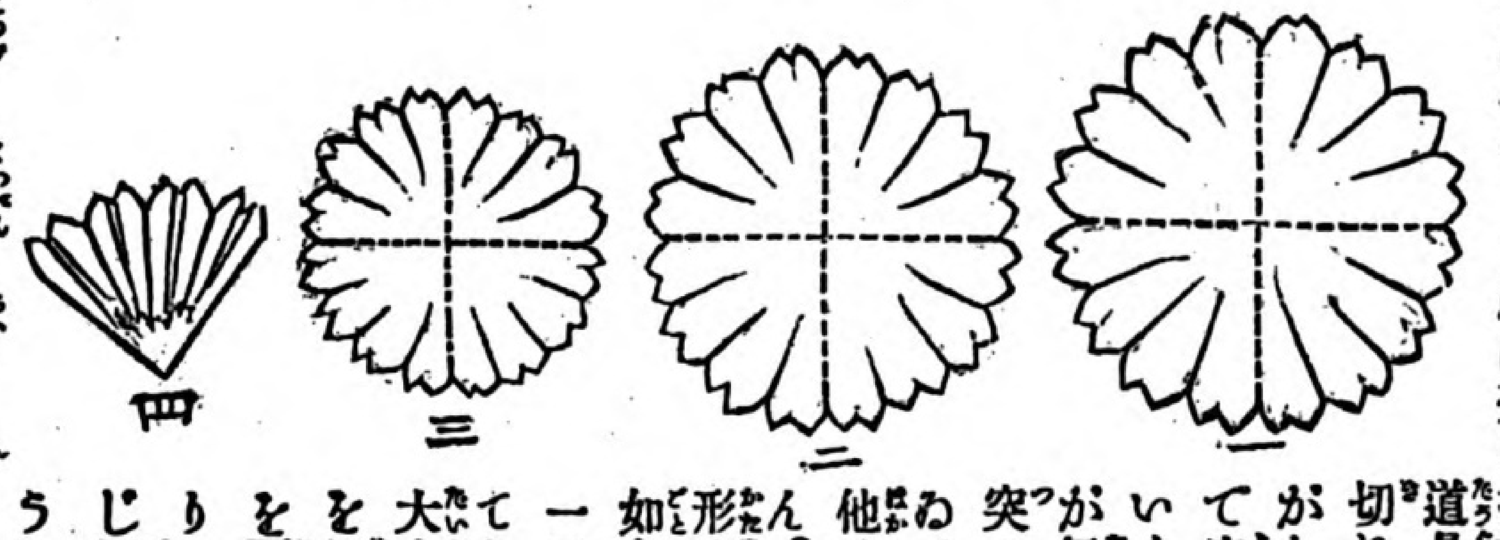
藝苑

菊の造花（上）

材料　絹寒冷紗△青紙△綿△黄色の木綿糸△針金△ひご△糊△染料

▲花瓣　材料は絹寒冷紗で、これをシンシ（造花の道具、造花材料販賣店で賣て居ります）張りにして置いて、オラーミン七分、ローダミン三分の割合に溶き混ぜた染料て染め上げ、それから花瓣の形を切るのです。これは菊の打拔きと云ふ道具を用ゐて切れば、手數がかゝらないて宜しう御座いますがそれが無くば鋏か突ッ切かを用ゐて切るより他はありません。形は第一圖の如きもので、一二三と示してある如く、大中小の三種を切り、これを更に四つ切りに致し、同じ圖の四のやうにするのです。

第一圖

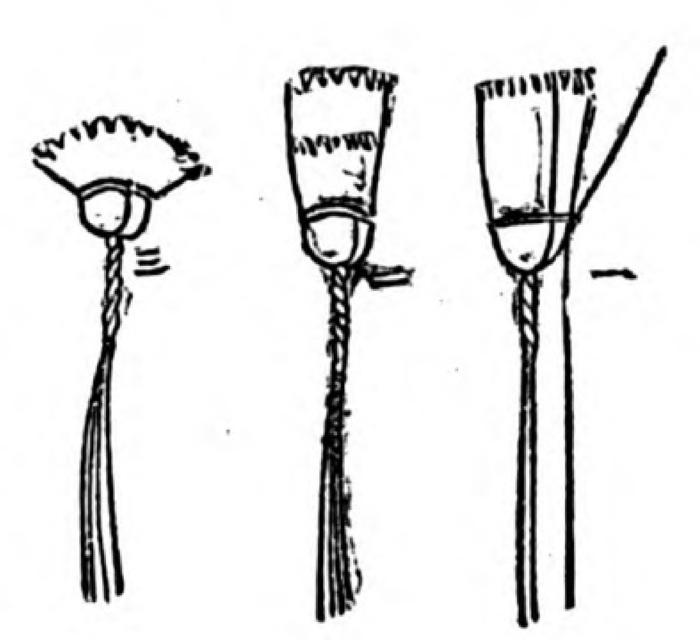


此圖の花瓣は小さく描いてありますが實物は之れよりも大きくせねばなりません。

大中小の花瓣がすつかり出來ましたら今度は菊の一筋と云ふ筋鏝を燒いて、第一圖の四の如くに一瓣に二本づゝの筋をつけて置くのです。

▲蕊　此蕊は黃色の木綿絲で造るのであります。其造り方は先黃色の木綿糸を一

第二圖



束として、それを二つに折り、第二圖の一の如くに眞中に針金をかけて、其兩端を下に引つ張つて撚りをかけて置き、それから別の針金で橫の下の方を括り、其針金の端は、一本は糸の中を通して下に引つ張り、今一本は其儘下に引いて、二本共に前の二本の針金を一緒に撚りをかけて、同じ圖の二のやうに致し、同じ圖の點線のある處を鋏で切つて、同じ圖の三のやうに先の方を擴げるのです。それから、グリーン七分にオーラミン三分の割合に溶きまぜた染め液で蕊の眞中を少し染め、青味をつけると一つの蕊が全く出來上ります。（『造花のおけいこ』より）

▽附記

この『實用造花のおけいこ』と云ふ書物は、つい先頃岡本蝶子と云ふ人の主幹して居る造花研究會から發行されましたが、此造花研修會と云ふのは通信教授の法に倣ひ造花術を研修しやうとする人のために設けられたとか云ふことで、前記造花のお稽古と云ふ本を購讀されたものは同會の會友となり、無料で造花に關する質問をすることが出來るさうです。その場所は東京牛込市ヶ谷仲町廿九て御座います。

●新形はこせこ帶及かんざし入れを取り去れば常用かみ入となり至極便利にして價も安く一圓五十錢よりあります
●巾着は地質御好次第御紋付御注文に應じ調製仕り一圓よりあります

流行せる束髮さし

銀製七寶入
金貳圓三拾錢

銀製寶石入
金五圓拾錢

其外種々新形有之候尚又御好みに依り調製仕候

最新意匠　瓢指環

十八金製ヒスイ應用

金參圓八拾錢

右は目下貴婦人令嬢を始め黒人筋に非常の好評を博したる最新形に有之候間其の流行にもれ給ふな

東京日本橋人形町通り
澤田治助
電話浪花二五六九番
振替貯金一一二七二番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

雜報

▽**陸相及び文相の訓令**　去月十三日を以て下されし詔書並びに夫れに對する箋解は前號及び本號の誌上に掲げたるが、此詔書の旨を奉じて陸軍大臣は各師團長や所轄學校官衙に對し勤儉の重ずべく浮華の戒むべきを訓じたる由文部大臣も亦た去月廿三日を以て各地方長官に對し左の如き內訓を發し尚同時に東西兩大學及直轄諸學校に對しても其趣旨に基き通牒する處ありしと云ふ。

本月十三日を以て一般臣民に對し優渥なる詔書を下し給ふ叡旨の教育に關係する所重且大なり職に教育に在る者をして聖意を奉體し躬行實踐以て子弟を訓育し克く詔書の御趣旨に副ひ奉らんことを努めしめらるべし

▽**臺灣縱貫鐵道の開通**　本年春を以て竣功したる同鐵道の開通式は客月廿四日閑院宮殿下台臨の下に、臺中公園なる式場に於て擧行せられたり。鐵道の全長は二百七十二哩に及び、此れが爲に、從來臺灣南北の交通七日間を要せしものも僅かに一日にて容易く旅行し得るゝ事になりたる由尚ほ閑院宮殿下が九十度內外の暑氣を冒されての此度の台臨は、深く人民の腦裡に印象を與へしもの丶如く、官民歡呼の聲天地を動かす許りなりしとぞ。

▽**米國艦隊の來訪**　司令長官スペリー少將の統率せる米國艦隊は、豫定より一日遲れ、客月十八日午前九時を以て、旗艦コンネーチカット以下十六艘、無事横濱港に到着、我が接待艦隊を始め公私官民の熱誠なる歡迎場裡に、司令長官以下幕僚各艦長は十九日午前九時八分新橋着列車にて公式入京、廿日午前十一時五十分參內、豐明殿に於て御陪食仰付られしを始めとして、連日官民の非常なる歡待を受け、二十三日午後三時五十分新橋發特別列車にて公式に退京、廿五日午前八時を以て横濱出港、艦隊は二分せられマニラ及厦門に向へり。因みに同艦隊の日本滯留中の重なる歡迎會は左の如し

十八日。横濱市歡迎園遊會　午後二時
同　横濱市長晩餐會　午後七時半
同　神奈川縣知事夜會　午後九時半
十九日。米國大使の接待會　午後三時半
廿日　謁見及御陪食　午前十一時半
廿一日。寺內陸軍大臣午餐會　正午
同　三井男爵午餐會　正午
同　東郷大將園遊會　午後三時
同　岩崎男爵晩餐會　午後五時
同　桂首相晩餐會　午後七時半
同　桂首相夜會　午後九時半
廿二日。尾崎市長午餐會　正午
同　島津忠重公の午餐會　正午
同　東京市歡迎園遊會　午後一時
同　英國大使園遊會　午後三時半
同　近藤廉平氏歡迎會　午後三時半
同　小村外務大臣晩餐會　午後七時半
同　東京銀行家團體演藝會　午後八時
廿三日。濱離宮の賜宴　午前十一時半
同　富士艦の晩餐會　午後七時
同　米友協會歡迎會　午後七時半
同　三笠艦の夜會　午後九時半

其他連日早稻田及慶應の兩大學の野球招待會、日光觀覧列車の特裝、提灯行列等數ふるに暇なく、廿四日米國旗艦の大接待會を掉尾として、遺憾なく進行、良好なる滿足を與へたり。

▽**古今歌人大祭**　客月廿五日午前十時より九段靖國神社境內能樂堂に開かれ、來會者千名に近く稀有の盛會を極め、午後一時總裁有栖川宮殿下御名代布目中佐來着、式場に臨みて令旨を朗讀せられ次で皇后陛下、皇太子妃殿下、各皇族內親王殿下御下賜の御歌を御歌會始の式によりて披講せりと當日御下賜の御製及皇后陛下皇太子妃殿下の御歌は左の如しと拜承す

御製

めにみえぬ神に向ひてはぢさるは
人のこゝろのまことなりけり

皇后陛下御歌

人なみにふむとはすれと敷島の
道の廣さにまよひけるかな

東宮妃殿下御歌

月

君が代のひかりを月に仰くらん
野山の末もくましなければ

▽**主客岩倉公を偲ふ**　去月二十二日東京市長の催しに係る米艦歡迎午餐會の席上に於て、市長の贈呈せる歡迎文中○一千八百七十二年(西暦)故岩倉公が泰西派遣の最初の大使として、米國議院を訪問するや、時の下院議長ベレイン氏が一行を待つこと歡待至らざるなかりし時、其殊遇に對し、公は次の如き言明をなして其答辭を結べりとて『將來通商の門戶が吾人民衆の利益の爲に、開放擴張せらるゝに至らば、其勢の赴く所恰も無數の河流が兩國の抱有する大洋に注入する如きものあらん、予は兩國の間に訂契せられたる友誼關係の益々親和結合して到底離るべからざること猶太洋の遂に分つべからざるが如くならんことを望むや切なり』と云へる公の言を引用せしにスペリー提督は其に對し挨拶して曰く余は市長閣下及市民諸員の熱誠なる歡迎を衷心より喜ぶものなり余が此喜悅を表はす言葉は先程市長閣下より贈られし歡迎文中岩倉公の言葉を繰返せば足る公の言はれし如く百川の大海に注ぐが如く、商業交通其他の點に於て共通し來れば、兩國の關係は益々親密ならざるを得ずと此言をして泉下の岩倉公に聞かしめば其感慨果して幾程ぞや。

毛髮用 パール

菊の露

千代作

菊の花浮世の人の作りけり　蓼太
菊の香に袴の儘の宵寐かな　成美
黃菊白菊酒中の天地貧ならず　漱石

秋風落寞として坐に襟の冷かなるを覺え、風露繁くして衣襟悉く濕ふ。草木漸く枯れて菊の美艷を恣まにする他は、花卉悉く地に委せんとするも哀れなり。重陽の節句には此花を浸せる酒を酌みて延命の壽をなし、籬の菊の氣高きには淵明が隱逸を樂みて千歲の芳を止む。菊壽童といふは菊花芳裡に遊べる神仙にして、齡千萬歲、老の至る事を知らずとぞ云ふ。畢竟菊花の薰り人の壽を延ぶる功あるを假りて、神仙を現じ出でたることなるべし。

菊は宿根にして、春芽を生じ八十八夜の候に根分けするものなり。一株の中より精分強きものを撰れば漸く一二本なるべし。菊植うる土は眞土にして、豫じめ乾鰮油粕人糞等を混じ、寒中を寢かし來りしものを用ふべし。

菊には種類甚だ多し、黑と紫とを除くの他は大抵の色彩具らざるなし。花容も糸の如きあり、鏖の如きあり、牡丹の如くに狂ひたるもの、花邊を卷き上げたるもの等、一々名狀すべからざるが中に、夏菊といふは六月頃の早咲なるが、花いたく劣り色も黃と白と赤等の僅かに三四種に過ぎず。これに反し、寒菊は菊の中にても最も優しく幽しき花なり。こゝに菊を詠める歌二三を手近き歌集よりぬきて左に掲ぐ。

ぬれてほす山路の菊の露のまに
いつか千歲を吾はへにけむ　素性

咲きしより日數はあまた過しかと
衰ふべくも見へぬ菊かな　春郷

見れどあかぬ匂なりけり長月の
光そへたるしら菊の花　春海

黃菊白菊

君が代を
千代に八千代と
祝ぎ奉る
黃菊白菊咲き匂ひ
幽に艷なる
色も香も

乳白化粧水

レート

東京　平尾贊平　大阪

レートの有する
効能によりて
遺憾なく身に粧ひ
得らるゝことを
夢め忘れ給ふな

定價　特別大瓶金壹圓　大瓶金五拾錢　小瓶金三十錢

至る所の和洋小間物及賣藥店に販賣せり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家庭料理

天長節にちなみて（上）

津川千代子

—獻立—

吸物　冠小鯛（かんむりこだい）　鶴の子芋　龜大根

鉢肴　生鮭のてりやき　日の丸羹　朝日生姜　月見たまご

酢の物　をろしいも　わさび　かげん酢

吸物の材料　一小鯛、一里芋、一大根、一三升味噌、一鰹節、一鹽、一醬油、

冠小鯛　小鯛をてけをとり、頭はそのまゝにして、脊より庖刀を入れ骨をとり去り、裏表にうす鹽をして十分間程おき、魚の尾を持ち脊の切り目の處にはさみ、尾を頭の處に出して、頭を上にむけて立てますと冠の形になります。竹の皮を魚の大きさ程に切つて蒸籠にならべ、湯の充分に煮立つた處にかけて十分間程蒸します。

鶴の子芋　里芋を皮をむき、鶴の首のやうに細長く上を二分位に、下を五分位に長さ一寸か一寸五分程に切ります。切れましたら茹てて、煮出しと醬油少しとて形をくずさぬやうに下煮をします。

龜大根　大根を皮をむき、幅五分長八分程に龜甲形にして、二分程の厚さに切り、これも茹てて、前と同じやうに下煮をいたします。

右の品々が出來上りましたら、器に冠鯛を盛り、そのわきに鶴の子芋三つ程と、龜大根を二つ程とを盛り、汁をしづかにはりこみます。

汁のつくり方　五人前として三州味噌三十目を、生のまゝ庖刀で細かに叩き、鍋に五合程の水を入れ、鰹節をうすくかきて入れ同時に叩いておいた味噌を入れ、金杓子で味噌をつぶすやうにまぜます。煮立つて來まして、上にあくが浮きましたら掬ひとつてすて、外の鍋に漉します。

▽東洋婦人書報講習會　東洋婦人書報主催となり去月廿四日の土曜日午後零時より第一回學術講演會を神田美土代町青年會館に開けり。當日は中村五六、三輪田眞佐子、安井哲子、中島德藏、新渡戸稻造五氏の多趣味有益なる講話あり、餘興として三曲合奏、ピアノ彈奏、女學生の踊舞鶴龜あり、いづれも非常の喝采を博し、非常の好况なりし爲め入場者堂に溢れ遂に入場を謝絶するに至れり。右講演のうち新渡戸博士及安井哲子女史の分は既に本號に掲載せり。

△今年の暦△

十一月（小） November.						
日	S	1	8	15	22	29
月	M	2	9	16	23	30
火	T	3	10	17	24	
水	W	4	11	18	25	
木	T	5	12	19	26	
金	F	6	13	20	27	
土	S	7	14	21	28	

洗粉（クラブ）は東京婦人の親友なり
洗粉に百種あり第一にクラブ洗粉
其原料は精良にして効用は卓絶したり
故に東京婦人は親友の如く常にクラブ洗粉を愛せらる、
洗粉（クラブ）は紳士方にも亦親友なり

冬も顔の荒れさるはクラブ洗粉の大なる特色なり
故に東京紳士は親友の如く
常にクラブ洗粉を愛せらる
然れども冬洗粉（クラブ）を用ひざりし時は然らずと記憶せらるるなん

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

スミレ香水
東京滑町
平尾分店

秋季雜題

内藤鳴雪選評

天

石段を踏み盡しけり秋の暮　東京　武田鶴子

評　百年行路難

地

小芋堀る土の匂ひや今朝の秋　京都　今田年子

評　都人は猶宿醒

人

大股に歩く人あり夏の月　東京　平野たき

評　浴夜は對の伊達模様

秀逸

大寺の一灯ともる夜寒哉　東京　鶴岡とく子
大きな石小さな石やきり〳〵す　青森　生田いく子
桔梗いけて忌日を人の悪れとめぬ　京都　露　緒子
旅僧の笠を追ひ行く野分哉　岩代　長谷川吉野
笹鳴や日當りもよき小松原　長門　萬田　長子
袂か文抜けば出づる紅葉哉　三重　四山きよし
日の入やさて忙しの赤蜻蛉　備後　世應　龜子
山本に黄昏近き砧かな　東京　栗田ふさ子
菊の香や傘煙ふる朝ぼらけ　東京　松本　保子
京はいま新酒賣るなり秋の山　京都　きみ子
秋の田にいなご取る子の二人哉　東京　栗山　貞子
さらぬだに心澄む夜や遠砧　東京　秋元　小菊
秋晴や例のましろに富士の峯　東京　三宅　久子
秋の雲行牛の方は山高し　岡山　西村　長子
ま草苅る人に媚び咲く野菊哉　岡山　清水　梅子
化けさうな地蔵も立ちて芒哉　東京　小田ゆかり
虫聞くと庭につまづく蘇かな　三重　荘司　みや

新體詩

編輯局同人選評

二等

夕暮　熊本かしく

入相の鐘の音ほのに
一つなりまた二つなり
秋の日は鈎瓶落しに
暮れんとす宵月はじめ
日もすがらとりいれの
戦に勝しめて
かへり來る農夫いくむれ
つかれたるまなざしに
夕星の影を見て
あすもまた日和ぞと
想たつ方にそいそぐ。

評　有聲の好畫幅

野菊

小さき輪、ほのかの薫り
あな淋し野路の白菊
さあれなほ天地の氣は
この花の蘂にかよへり。

評　成功に近き四行詩。

秀逸

工夫の妻　函館　前田武子

風ば落葉を誘ひ　破障子かぜに戦のゝく
照り弱き二分心の　仄暗き光をあてに
繿褸縫ふ面痩せし　蒼白き工夫の妻が
髮のほつれをかき上げて
物うげの眼もて　錆びつきし針の先追ふ
寒き夜や
終日を夫はタガネと　金錨を友として
鳥黒ろなる洞中に
安全燈の弱き光を頼みつゝコツ〳〵と其日を送る

評　推敲せば佳作たるを得べし。

朝霧　東京　小田ゆかり

朝霧ふかき館樹の　石につめたき野の小菊
朽ちたる撞木かたむきて　あはれ荒寺のたゞずまひ
淡き夢路のあとかへて　響かぬ鐘のひびくごと
胸の煩悶やいつ霽れむ　またひとしきり讀經の
聲はかすかにはた寂びて　朝霧よここに流れゆく

評　流麗なる筆致

四つの腕　岡山　石川みよ子

君が腕のわなゝきに　かたみに捲きて抑寄る時
君が腕のかいざしに　熱きほとほのふるゝ時
君か腕のひた添ひに　吹き吐息の走るとき
君が腕のなげやりて　髮の小白合の落つるとき
痴れたきかなや悔ゆる朝の　かなたは知らぬあゝ魁の
四つの腕は共にはなれじ

評　四つの袖の向ふを行くもの、才藻と云ふべし。

たかい山から　青森　久保石子

山は赤く空は高く青い、私は今高い山に居て、四方を眺めて居る、人も島も小さく見ゆる、三戸の町も見える。町を川が縫ふやうに流れゆく、フトその人が胸に浮んだ、源太郎さんといふ人である、飛んでも行きたい、鳥は二羽カア〳〵と鳴き乍ら町の方へとび行く、たまらない〳〵。

評　猶つとめて口語詩の成功を期せられよ）

撰外佳作

○白い花　瀬高やす子○晩秋　長谷川よしの○秋野　鈴木まつ子○命　八木清子○落翠　清水梅子○秋　山根秀子○以上は凡て佳作なれど誌面の都合にて掲げず

スミス洗粉御愛用の御方は どなたにも出來る最も面白き娯樂

此洗粉は英國ケンブリッヂ大學教授醫學博士エー、ヂ、スミス氏の配劑にして世界最高の美身料として品質の善良なると其香氣の佳絶なるは遠く他品の及ざる所にして發賣以來日尚淺きにも拘りませず格別の御高評と御愛顧を蒙り他品を凌駕するの盛況を得ましたのは一に本品々質の佳良なる特徴あるとは申ながら是れ皆衆位の御引立によりました結果に外ならぬのです就ましては其御禮として今回誰樣にても出來る家庭の御樂みとして面白き左記の大懸賞を催し終日徒然の御慰みに供する事としましたから左の問題に御答へ下さい

金壹千圓の大懸賞　スミス洗粉

賞品

壹等　婦人持金側時計金鎖附　一人／金泥織丸帶　一人　（五拾圓宛二人）價格壹百圓
貳等　紋縮緬別染長繻袢　一人／羽二重別染長繻袢　一人　（卅五圓宛二人）同　七拾圓
參等　大島紬絣　（廿五圓宛二人）同　五拾圓
四等　御召縮緬二反　二人／友仙縮緬三反　三人　（拾五圓宛五人）同　七拾五圓
五等　肩掛　（六圓宛十人）同　六拾圓
六等　四季袋　（貳圓半宛十五人）同　卅七圓半
七等　半帶　（壹圓半宛五十人）同　七拾五圓
八等　羽織紐　（壹圓宛百人）同　百圓
九等　ニッケル製旅行用美術洋服掛　（五拾錢宛二百人）同　百圓
拾等　舶來紙着色美術繪はがき　（拾五錢宛二千二百廿人）同　參百卅參圓

右の景品は大阪大丸呉服店に陳列してあります

一平素御愛用のスミス洗粉何所の店で御求めになりましたか
一解答の御方は宿所氏名を認め且つ宛名は左の通り御誤りなき樣必ずお認め下さい

大阪市東區道修區心齋橋角　スミス洗粉東洋總代理店　三共商會

一解答用紙は必ず郵便はがきに限ります
一スミス洗粉は全國到る處の化粧品雜貨小間物賣藥店等にあります
一賞品は正解者中抽籤に當つた方に呈します
一解答の〆切は十一月三十日
一抽籤方法は東京大阪有名の新聞社員立會の上執行致ます
一抽籤場所は大阪市日本電報通信社大阪支局に於て最も公平に抽籤致ます
一尚當日は各位の御臨場あるも妨げなし
一當籤者名は十二月十日以後に此廣告掲載の各新聞紙上に發表いたします
一賞品送達費用は當籤者の負擔であります

スミス洗粉を愛用の御方には容易い事で趣味があります

（問　題）

（一）皆樣が常に御愛用になる左圖のスミス洗粉のレッテル（壜の卷紙）に日本の文字か幾つありますか
（二）スミス洗粉使用法中大袋入は何回に使用へばよろしいですか
（三）此廣告を御覽になりました新聞は何新聞ですか

定價
小袋　金八錢
大袋　金拾貳錢
小瓶　金拾八錢
大瓶　金參拾錢

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

和歌

大口鯛二選評

——秋季雜題——

天

うなゐらが指さす見れば紅葉も殘る櫻に花さきにけり　長門 萬田眞子

評曰　狂花を思ひよられたる先づ珍らしきに紅葉も殘るなどいはれたるおほかたならずよし

地

鷺の居る汀の柳かつちりて秋立ちにけり湖添の村　岩代 長谷川吉野

評曰　湖畔の秋色みるが如し

人

手向にと手折るたもとはあきはきのつゆよりほかの露にぬれつゝ　山口 末田竹子

評曰　四五句のあたりかいなでならず

秀逸

朝かほの花の中かき中々に隣したしき種となりけり　丹波 中西貫美枝

柿もはやいろつきにけりおなしくはきませわか友たけの出頃よ　群馬 伏島たき子

なく虫のこゑはのこりてあけわたるあさちか庭に小雨ふるなり　横濱 鈴木まつ子

朝な夕な世のうきことも白つゆの玉のひかりのうるはしくして　三河 木俣六女子

たけかりて踏るたもとにはら〳〵と夕日にほひてちる紅葉かな　岡山 西村長子

まとろむと思へばまたも雁かれの夢おとろかす秋の夜半かな　山口 末田良節子

秋山のきのこかりするうれしさに足のいたみもおもはさりけり　岡山 清水梅子

月ほそく虫の音しげき夕まぐれ身の秋になく友もありなむ　岡山 横川明子

心してわかつちかひし此の黄菊君が御影に捧げまつらむ　三重 西山ひさゑ

ふつくゑの上におかはやちひさなるはちの白菊花さきにけり　堺市 全田つるえ

吹く風に庭の千草の露ちりて夕ぐれさびし山のした庵　東京 林 喜久

すみわたる月をなゝめに雁とびて畫繪に似たる秋の空かな　東京 飯塚きよ子

秋更けてたえ〳〵になく虫の音も身にしみ渡るゆふまぐれかな　三重 荘司みや

むしの音も尾花もいつか枯れそめてゆふべさびしき秋のくれかな　東京 鈴木秋子

故郷の母をたつれてともし火の許に語らふよはそたのしき　美作 八木清子

八千草の花も枯れ行く秋の野につはさやつれて小蝶とぶなり　青森 留目和歌子

雨そゝぐ萩のまかきに夜もすからうらさびしくもこほろぎのなく　東京 下關こま子

草笛のたえまたえまに虫鳴きて夕月悲し秋の草原　東京 平野たき子

山守か松葉かきよせやくたけにけふのえものゝ品さためせん　東京 清水まつ

嵐ふき落葉みたるゝ秋山の霧に迷ひて小鹿なくなり　函館 前田武子

船出せしわかはらからは瀬戸海の夜ふかき月を見てやあるらん　京都 津田君子

わけゆかは花や散りなん道もせにさきみたれたる小野の萩原　台灣 浮洲德子

撰外佳作

松村壽賀子、西山數子、安藤喜美子、小田ゆかり、足立原とく子、西村きよ子、金原直子、山內經子、露緒、三宅久子、平松いゝ子、余田久子、富田眞壽子、佐野くに子、松の操。以上はとりどりに佳什なれど、誌面の都合にて掲載を見合せたり

◎十二月五日發表の歌題◎
△落葉▽一人二首迄——用紙葉書▽
◎十一月十五日限出詠◎
△選者▽　大口鯛二先生▽

短文

編輯局同人選

秋の日　美作 八木清子

日あたりのよい縁側にぼんやり佇んで、うらゝかに晴れ上つた空を仰ぎ、昔あつたやうな日だな、と思つて居ると、突然無邪氣な靜子が、黄菊白菊とりまぜた花束持つて、母ちやん此花父ちやんにと佛壇を見る。何となくもの淋しい日である。(一等)

評　短文の要を得たり

野菊　東京 小田ゆかり

空の青色は巧に彩られて濃淡がない、日の光はいと長閑だ、吹く風も秋のそれとは思はれない、然し遠近の景色はさすが秋である。黄金色の田は遠くまで續くその端に藁葺屋根が二三重なつて見える、藁屋の配合は秋が一番よい、姉さん被りをした鄙の少女が、草箒と鎌とを持て出て來ればよいと思ふ、と直ぐ前の畔を岩疊なお爺さんが稻を刈つて持つて現はれた。(二等)

評　いつも乍ら美しき書きぶりなり。

蟹だまし　香川 瀬高やす子

薄紫のお振り袖、赤白の無垢重ね、電燈まばゆい大廣間、花嫁の文子樣と並て座つた。私の役目を蟹だましと云ふそうな、お友達の中でも一寸似てる人が務めるので、習慣とはいへ、いやな名だと思ふ。氣がつくと花嫁にくる一座の視線が歸りにはそれて私の上に落るので、面を上ぐる事が出來ない、初めて結ふたお島田がいやに重い! 動悸ばかりが高う打つ。(三等)

評　趣味多き光景

秀逸

女優志願の友に　岡山 石川みよ子

御身が天下の藝術を呼ばるゝとき、妾は子守女に小言の一つも申し居るべく、御身がプライドに滿ちたる御眼も、妾は煤けたる燗して迎へざるべからず、御身が檜舞臺に立ちて衆目を眩じ給ふとき、妾は鍋釜雜居の臺所に三毛を追はざるべからず、いづれも運命とは申し乍ら面白き配合に候はずや。

評　奔放なる筆致、女性として稀に見るの觀察。

一日の涙　靜岡 齋田とめ子

朝早く故郷の母より寒さを心せよと細々の便りにいつも變らぬ温き情を身に沁みて嬉しく涙ぐみぬ。十二時頃より支部總會に參列して總裁妃殿下の玉姿を拜して思はず有がた涙にむせびぬ。癈兵の手足の不自由なるを見ては、同情の涙に胸せまれり、故郷より參列の人々に會合しては、なつかし涙に袖うるほしつ、終りにわかるゝ時は悲しさに涙しぬ。

評　多情多恨

選外佳作

■運動會　富田眞壽■茸狩　清水梅子■鈴木榮子■白菊　西村長子■亡き友　西村きよ子■以下數十篇

室內煖爐

最新式和室用煖爐
學校會社事務室用煖爐
米國請無烟無臭石油煖爐

目錄進呈

無烟無臭無蕊火力強大一升の水五分間にて沸騰す

石油瓦斯こんろ

淺草茅町淺草橋　電長谷下一九二三

阿部彥四郎商店

院長 醫學博士 榊順次郎　婦人科產科 毎日午前診察
副院長 醫學士 久保德太郎　婦人科的外科 外國留學中
副醫 醫學士 田代謹二　婦人生殖器病 泌尿器病及內科 一般火木土午後診察

婦人科產科榊病院

●施診火木土自午後一時至二時

麴町區三番町三三(電話番町三九五)

腦病 精神病 神經病

東京府下龜戸町 かめゐど停車場ヨリ約十丁

加命堂腦病院

電話浪花 二五五三
院長 奈良林淺次郎

失明軍人の講習を終り午後閑暇を得しに付治療の依賴に應ず

マッサージ 鍼治

東京盲啞學校鍼按科教員 奧村三策

小石川原町一三三植物園裏

於勸業博覽會賜賞牌及褒狀

裁縫はさみ各種

(定價表は御報次第送呈す)

(電話浪花八五七番)(振替番號二九四七) 東京日本橋てりふり町

金銀盃類

貴金屬寶石美術品袋物一切何品に依らず迅速と廉價を旨とし誠實に新調又は改作の御用相勤め可申候間何卒一層の御引立を以て多少に不拘御下命被下度奉願上候

宮內省御用達 玉寶堂

電話下谷(特九六五番)(一二四四番)

小兒科專門

腺病體質(瘰癧症)
小兒胃腸障害(脾疳)
腹膜炎(脹滿)
小兒皮膚病

ドクトル メヂチーネ 長井岩雄

東京日本橋數寄屋町(呉服橋外)電本百八十

東洋內科醫院

院長診察月水金木前松田醫學士診察火土前窮者施診火木前入院診斷隨時應需松田林兩副長は目下當院に在勤

電本八八八(病院用)八九八(私宅用)

東京神田區駿河臺鈴木町二(御茶水橋畔)

南湖院

院長 醫學士 高田畊安

神奈川縣高座郡茅ヶ崎町濱(停車場所在)

河野副長は目下當院に在勤院長診察土曜日午後○同時窮者施診副長診察月、火、水、木、金、土、午前

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

世界雜談

▽萬國寫眞博覽會　獨逸國ドレスデン市では明千九百九年五月から十月まで萬國寫眞博覽會を開設し各文明國に於ける寫眞の狀況、各國の風景、風俗、人情等を廣く一般に紹介するとのことであります。我國にも其通牒があつたさうですが、斯道に嗜好を有する人、當業者なぞに於ては一方には我國の寫眞術が如何に進步せるかを示す爲め、同時に又た東洋の文明國たる我國の人情、風俗、風景等を世界の人の眼の前に廣く展覽する爲め盛んに模範的寫眞を同博覽會に送るやう準備されたいものであります。

▽伯林の幽靈譚　これも獨逸でのお話で御座りますが、先頃同國ベルリンなるモルトケ將軍の家の門番が夜十一時頃未だ眠られずに戸外に居ると先代のモルトケ將軍が軍服に劍も釣らず悠然と現はれたので吃驚して內へ入つたさうですが、それと同時刻に同國參謀本部のゴルッツ將軍と今一人の士官が今度新しく出來たモルトケ橋で頭の無い將軍に出會つて、オヤと云ふ間に消えてしまつたと云ふことです。して見ると如何なる文明國にも幽靈譚は、二十世紀の今日に於ても絶えることの無いものと見えます。

▽杜翁の著作　露西亞のトルストイか、トルストイの露西亞かとまで或る人々から思はれて居る文學者思想家伯爵トルストイ翁の著作の賣れ行は非常のものでありますが、最近の調べに依りますと、杜翁全集は既に十版を重ね、これを部數にすれど八萬部以上になるさうです。尙ほ單行本で賣行きの廣いものを擧げると「高加索の囚人」約三萬五千部、「人は何故に生活するや」一萬五千部、「主人と家僕」約二萬三千部、「復活」一萬　千部等。この他にも二萬以上賣行いたのもありますが爰に略します。尙トルストイの著作で外國に譯されたものゝ數は獨逸語二百種以上、佛蘭西語百五十種、英語百七十五種、瑞西、丁抹約五十種、日本、印度等一種以上二十種ださうです。

▽帝室御物和漢朗詠集の刊行　藤原行成卿の書として古來嘖々嘖稱せらるゝ和漢朗詠集は帝室の御寶物中にても殊に貴重なるものゝ一なるが行成卿は人も知る如く今より凡そ九百年前即ち藤原時代の中葉に於ける名家にして多才多藝最も書法に長じ當時冠絶と稱せらる長保中同外祖源保光の舊宅を捨てゝ世尊寺を創せしより後世行成卿を仰て世尊寺流書法の祖と稱するに至れり和漢朗詠集は四條大納言公任卿の撰集したるものにして長く文雅の國圖に尊ばれしが即ち撰者と同年代の人にして此書の成れる頃直ちに書寫せられしものなるべく筆致流麗にして氣品の高雅なる好古書家の欣賞措く能はざる所なり仍りて帝室にては今回內親王各殿下の御學の御手本に供し給はんが爲めに特に東京京橋區新肴町審美院に命じて若干部を印刷に附せしめらるゝにより審美院にては此調進の光榮に浴せるを機として特に宮內省の許可を得て好古家及び書法の研究家の爲めに副はん爲め更に數百部を印刷し世の同好の士女に頒つといふ女流の方漸く優美の風すたれ高雅の趣を失はんとしつゝある今日本書の出版は多大の裨益を女流社會に與ふるものといふべし

▽嶄新なる履物　今回淺草茅町香取屋本店にて賣出したる新案男女向遠山形は時代の新流行光琳式を加味せし頗る意匠嶄新の履物にて發賣記念の爲め十一月一日より五日間金一千圓の福引大景品付にて大賣出しをなすと

冬物出揃
ボアーマフ
羽蒲團膝掛
御婦人小兒用帽子色々
手袋靴下類
リボン製造
西洋小間物
牛込神樂坂下
朝日堂
電番一六九九

流行冬半ゑり各種
半ゑりは赤のまんまに限る
本店 神田表神保町壹番 電話本局二八五三
出店 新橋博品館樓上

宮崎葡萄液
葡萄の有りの儘の汁にて酒精分は固より毫も防腐劑を混ぜず而かも香味卓絶何人の口舌にも適す眞に飲料界の覇王也
宮內省御用達
發賣元東京日本橋區通旅籠町
甲斐產商店

新製寶石入指環
此指環は今回弊店が特に佛國より取り寄せたる各種の寶石を用ひて歐米新流行の意匠を採り多數に製出せるものなれば價格低廉にして精巧優美なり

眞珠三個入　十八金製 價金拾圓半　十二金製 價金六圓半
サファヤ又ハルビー入　十八金製 價金七圓　十二金製 價金三圓半
新ダイヤ入　十八金製 價金六圓半　十金製 價金三圓半
オツパール入　十八金製 價金七圓半　十金製 價金四圓
御注文の際は指の太さを紙片にて御示し尙此外寶石二個以上入りのもの彫刻付等のものも澤山取揃へ有之候
宮內省御用達
東京日本橋區室町三丁目
金田時計店
電話本局六九五番
振替貯金口座三二六六番

內外化粧品
西洋小間物
流行冬帽子
婦人小間物
高等玩具類
東京神田表神保町一
中久商店
電話本局三五三一

◉婦人病專門
院長 櫻井克己
櫻井病院
芝明舟町十九 虎門外宮樣前
電話新橋三三二四

社告！！
本誌掲載の廣告を見て當該廣告主と取引應答せらるゝ際は、其旨御申添被下度願上候　敬具
十一月三日
愛國婦人發行所

懸賞
本誌附錄不思議の繪葉書は、嶄新高尚なる懸賞問題にして之に當選する時は無代價にて奧村五百子詳傳其他の書籍を得るの特權あり、猶ほその第一回の當選を披露したるが、次の誌上に於て更に第二回の當選を發表せんとす。買物をして利益を得むと思はるゝ方は至急本書を購讀せられよ。

愛國叢書第一篇
女德論叢
定價金三十錢 郵税共 全一冊

特色
本書の購讀申込は目下が最も好時機なり、此際至急申込まれざる時は、好機空しく逸走して悔ゆとも及ぶ事なし、本書の內容は大隈伯爵、元良博士其他當代の名士才媛の卓說を網羅せり、本書の表裝は特に懸賞にて募集したる圖案中の最も勝れたるものを採りたるもの、內容形式併せ整ひたるもの本書の如きは他に比肩するものなかるべし。

發賣元　愛國婦人發行所

何故に此二雜誌の愛讀者は敬愛すべく氣品高く見ゆる乎

女學世界
十一月一日發行 拾四號 正價廿錢 郵税二錢 前金八冊壹圓六十一錢
◎學問の役に立たぬ理由…木村貞子
◎榮耀に浮かされたる婦人の實例…長井理學博士
◎鬼にならねば渡られぬ嫁と姑…紅淚女史
◎貴婦人界の雙星…某婦人
雜貨店經營の十年間　一葉女史令妹 樋口くに子
◎高尚なる家庭を作る法…鳩山春子
◎神經衰弱の療法…女醫 岡田園子
▽女優學校の朝の一時間 ▽苦勞を知らぬ娘の日記… ▽大阪婦人の側面觀… ▽婦に與へたる母の訓戒
▽化粧品使用の心得 ▽孃として家事を取る心 ▽厭妻病…糸左近 ▽其他有益の材料頗富饒

少女世界
十一月一日 拾五號 正價拾錢 郵税一錢
●前金郵税共 四冊四十錢 八冊八十三錢 一ヶ年一圓五十六錢
口繪 ◎運動會(彩色石版) ◎花たば(彩色石版) ◎菊のはな ◎愛讀者の面影(以上鮮明寫眞版)
お伽小說 天の橋姬(龜の取次ぎ 龍王の天上)巖谷小波
◎秋の樂み ◎女學校めぐり
◎初霜物語 竹貫直人
▽鐘の音 西村睹山 ▽神の竿 泉斜汀
▽肩掛編方 ▽蔦の造花
▽動物の武器…木村舟子 ▽海底の女王…江見水蔭 ▽露子の旅行…押川春浪 ▽少女の化粧…藤波久子

東京本町 博文館發行 (振替貯金口座二四〇番)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十一月一日より十五日まで

祝月賣出し

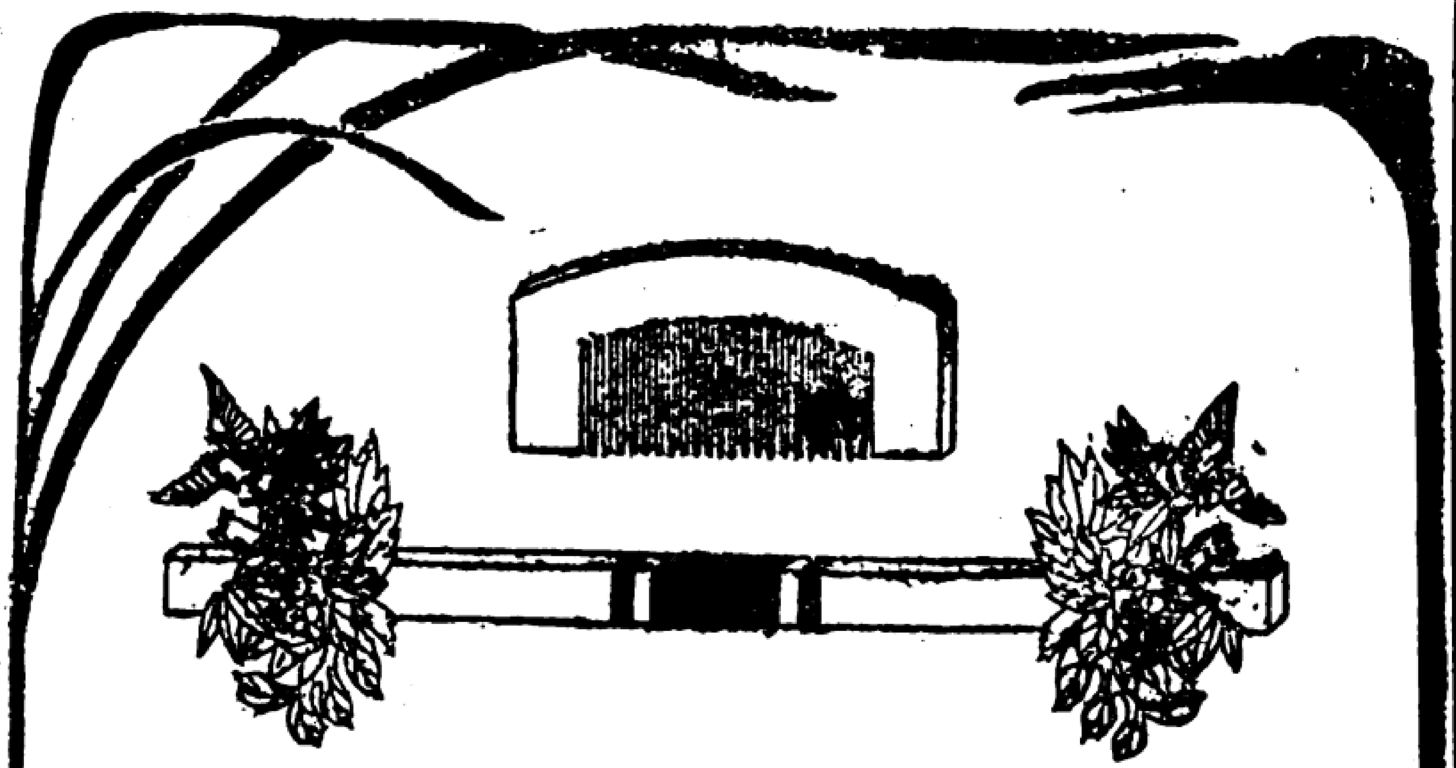
餘興福引

最高百圓、以下數千點

大丸呉服店

東京日本橋區通旅籠町

電話浪花 八三三 六六三 六〇五



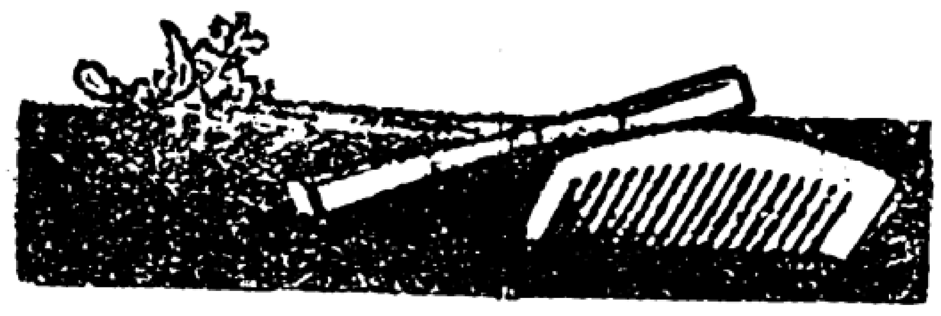
東京市尾張町 白牡丹本店

待つ春の御支度なり又**御婚禮**の御用としては、御櫛笄の**御新調**こそ肝要なれ。就に本店は此**季節**に向ひ恰好の品々を取揃へ置き、價は大凡そ本甲一揃にて五十圓位より二百圓位迄、又四方張にては八圓より二十五圓位迄にて**御需用**に應ずべく、希くは陸續御用命あらんことを。

本回佛國より最新季節向束髪用四五六吋リボン到着

極歯通りよきハイカラ櫛

タボ櫛横櫛三枚櫛新着仕候



流行の

定期預金　六ヶ月以上 年上(八分五厘)

當座預金　百圓に付日歩 一錢

小口當座預金　同日歩 壹錢參厘

東京市日本橋區通一丁目

合名會社 森村銀行

電話(特)本局六七三番 電話本局四九八番

東京市麴町區錢瓶町(常盤橋内)

日本興業銀行

電話本局 一、二八〇番 三、三〇〇番 四一一番 (特)三七番 一〇二番

資本金壹千七百五拾萬圓

營業科目

一 擔保附社債に關する信託業務
一 有價證券其他貨物を擔保とする貸付
一 有價證券の應募引受及び取立
一 地方債、社債、株式等の發行事務
一 會社の信託事務
一 國債證券、地方債證券、社債券、株券の擔保貸付及手形の割引
一 國債證券、地方債證券、社債券の應募又は引受
一 法律規定に依り設定したる財團を抵當とする貸付
一 定期預金、特別當座預金

其名は高貴なる麝香に比すべきスミレの香料を多量に含む

其の香氣馥郁として

ラクダ石鹸

東京日本橋本石町

本舗 井上太兵衛

煉香油

東京 井筒

最新流行

美術蒔繪櫛

最上醤油

キハク印

於畜路島博覽會 名譽大賞牌受領

醸造元 千葉縣野田町 茂木七郎右衞門

東京支店 日本橋區小網町三丁目 中野長兵衛

電話浪花五七七四

キハク印醤油は味がよくて調理にかなつて居ると云ふことは皆さん一般の評判ですどーか其あぢのよくてそして經濟であると云ふことを御ためし願ます

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

宮内省御用達

醬油元祖

上

開業貳百六拾四年

下總銚子町
醸造元 濱口合名會社
振替貯金口座五〇貳番

最上醬油
發賣元 濱口吉右衛門
日本橋區小網町三丁目廿七番地

品質ハ 印ト 少シモ 異リナシ

醸造元 千葉縣銚子町 濱口吉兵衛

婦人雜誌界の女王
東洋第一
發行部數
拾壹月一日發行 拾參號
三錢半 一冊 稅共 拾五錢 郵 七年分 厘 壹圓 五拾錢

婦人世界

▲外國に嫁したる日本婦人の實例 村井弦齋

▲小兒の喜ぶ長く玩具 岸邊幼稚園主

▲安心して頼める產婆 榊博士

▲閨秀畫家比較 奥原晴翠と上村松園と

▲裁縫 懸賞の發表は本號

▲料理談 弦齋夫人

▲故野津元帥と美人

▲小說家より女優となり初めて舞臺に出たる時の所感 佐藤露英女史

▲日本女子大學の生徒は他校の生徒と如何に違ふか 成瀬仁藏

▲意地惡き姑に仕へて十年貞節を守りし嫁 山脇女學校長 山脇房子

▲娘を嫁入らす時に言ひ聞かせたる教訓 機關大佐夫人 武田貞子

▲三年シヤムに皇后女學校を教へたる苦心 學習院教授 安井哲子

▲我が家の實驗 讀者の實驗皆有益

▲雁に關する古今の文藝談 白水

▲寄宿舍の瓦斯使用實驗 嘉悦孝子

▲十人以上の子供の寫眞を募る

▲本誌獨特文藝問答

▲初產の日記 當時の父

▲懸賞婦人頓智談

▲讀者文藝欄發展

▲母の急病と聞きて四里の夜道を走りし苦心 仁科遠平夫人

東京京橋區南紺屋町 實業之日本社 郵便振替貯金口座三二六番 賣捌所全國書店

懷中要藥

清心丹

齒科治療 ドクトル 齋藤清太郎
麴町有樂町帝國ホテル向（電本千五百十九）

胃病良藥 太田胃散

良藥にして口に甘し

たん せきに

あさだあめ 淺田飴

すきはらにめし

定價 金五錢 金拾錢 金貳拾錢

東京本店 堀内伊太郎 大坂支店 取次 全國藥店

しらが赤毛の人に廣告

瓶一組小冊子中五拾錢大一圓前金無送料
金引換注文は廿二錢申受、取次人申込該
此劑は獨逸醫學博士の發明に弊店多年の試
驗劑を加味せし新藥にて僅か十分間に染上
り黑き光澤を發し美麗なる鳥羽の如くにし而
して永久禿げる事なく毛を切らず皮膚に無
害なるは弊店保證す明細書は郵券貳錢送れ

毛染所 東京京橋區本材木町三ノ四 岡田商店

THE GEM

ゼム

衛生家必携

懷中良藥

理想の婦人

愛國

深き母、常に快活なる氣を以て子を育する母の爲身を愛し、家の事を執るに明敏なる婦人

家庭にあり又交際場裡にありて常に清涼快活ならんには「ゼム」を服用せらるべし

◎主効

◎頭痛◎眩暈◎氣鬱◎舟車醉◎時候傷◎水傷◎食傷◎消化不良◎口熱◎口中惡臭◎其他常用すれば氣分を爽快にし音聲を美にし諸種惡疫を豫防す。

定價 百粒入七錢 廿粒入十七錢 四百粒入五十錢 容器入卅粒入十錢 廿粒入十五錢 百錢 六十九錢

東京 愛國堂 大阪 山崎高兒 馬喰町 山崎鶴鳴 二丁目 榮三郎商 二丁目 商會

新刊

女子手藝編物教科書

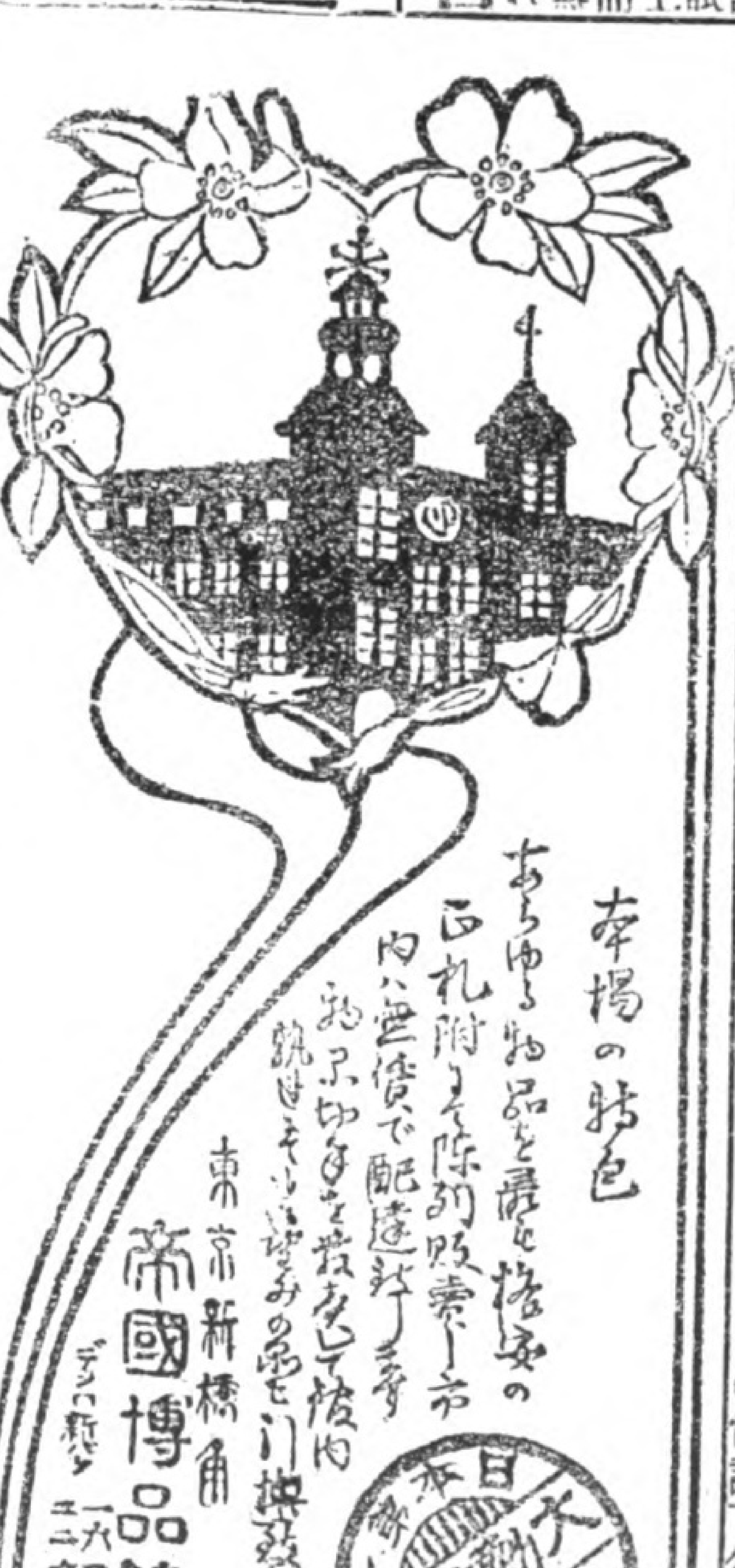
（立女子職業學校編物主任教授 豐原繁尾子先生著）

全一冊 和裝 美本 定價五十五錢 郵稅金六錢

本書は斯道に於て最も古くより經驗を積まれ最も老練にして有名なる豐原先生が初學者の爲め最新式の編方を圖解により詳說せられたる者なれば女學校教科書及教員受驗用として最も適切なるは勿論、家庭獨習用として必ず缺くべからざる良書也。

發行所 東京築地二丁目二十一番地 電話新橋八八番二二六九三番 株式會社 國光社 振替貯金口座一一七八番

大賣捌所 東京堂、東海堂、良明堂、至誠堂、北隆館、須原屋、天賞閣、春祥堂、上田屋、池田榮進館



本場の特色

東京新橋角 帝國博品館

◎婦人科小兒科專門 午前宅診 午後往診
東京市麴町區飯田町四丁目九 女醫 鷲山彌生

小兒病診療 宅診午前 往診午後
淺草區藤井町貳番地
醫學士 内田愼太郎
◎電話下谷七一八番

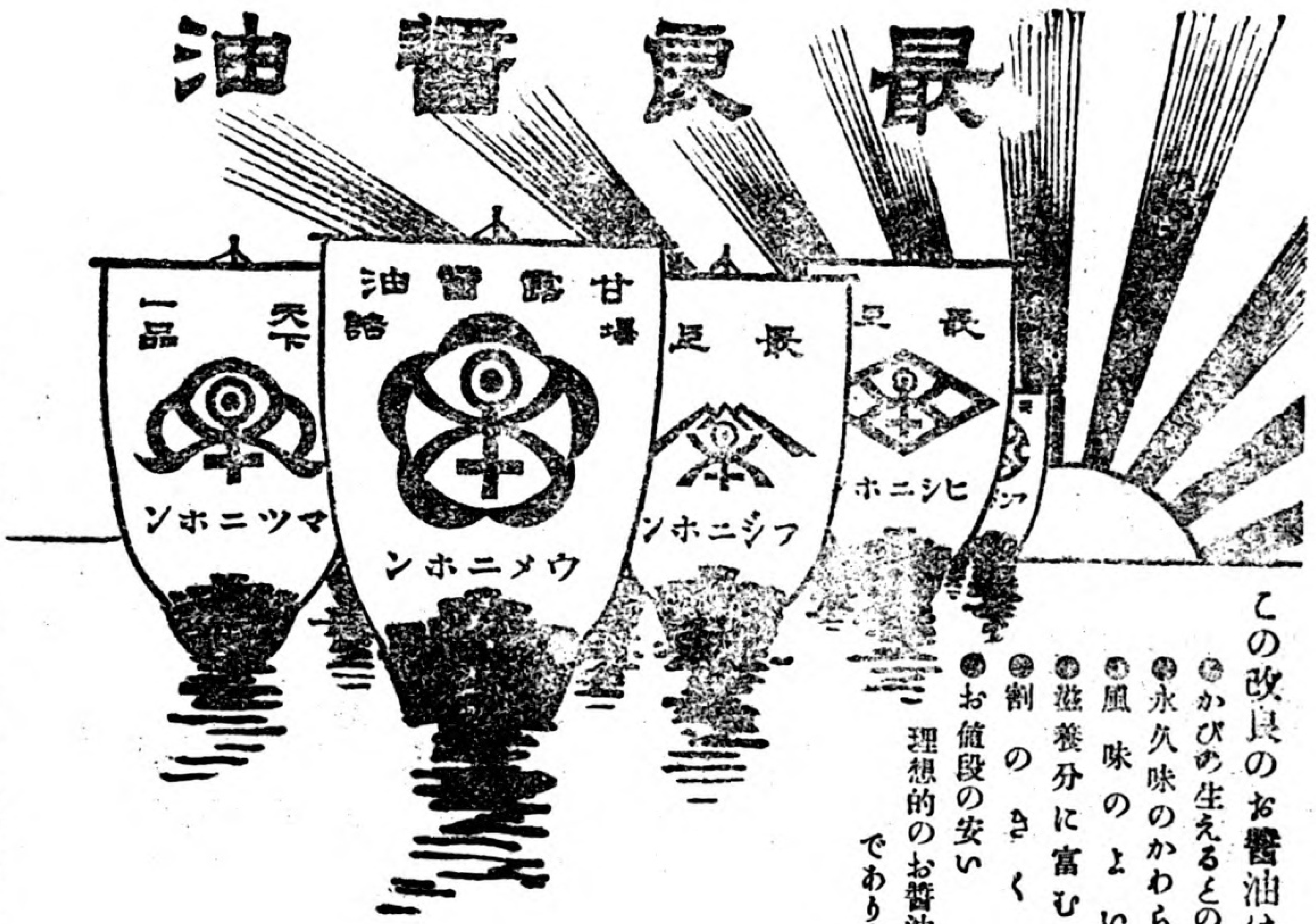
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

羽織紐 帶締類

東京日本橋區…町

電話浪花一… 振替貯金一一八五六

最良醤油



この改良のお醤油は
● かびの生えることのない
● 永久味のかわらぬ
● 風味のよい
● 滋養分に富む
● 劑のきく
● お値段の安い
理想的のお醤油であります

資本金壹千萬圓
東京深川小名木川通 電話浪花(長三七七三番 一五九五番)
日本醤油釀造株式會社

元賣捌所
日本橋區北新堀町 電話浪花(一四六番)
日本醤油東京販賣所

資本金八百萬圓

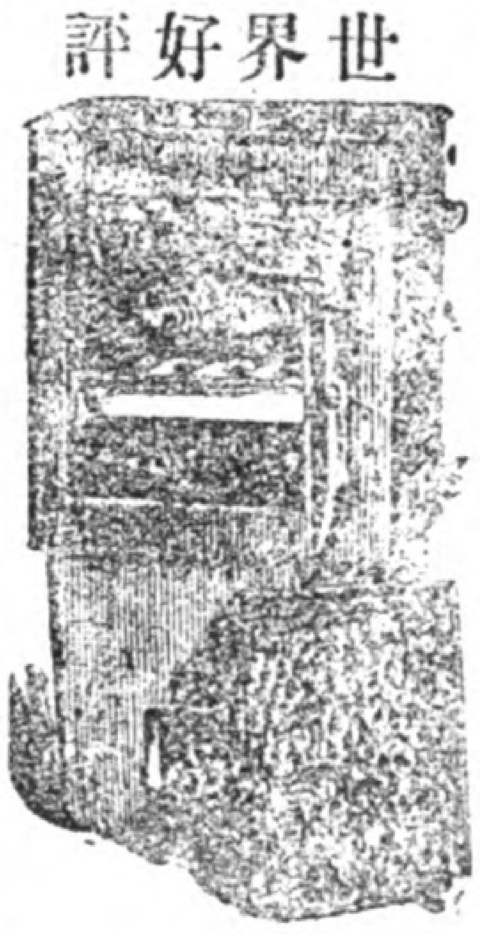
東京京橋區木挽町
株式會社 十五銀行
電話新橋 三〇〇番 三三〇番 一五九三番

同日本橋區新乘物町
同 日本橋支店
電話浪花 一九〇一番 三二七四番 三五〇八番

一定期預金 六ヶ月以上年五分
一當座預金 日歩七厘以下
一特別當座預金 同 壹厘六毛

家庭の重寶

世界好評



專賣特許 名和式蒸燒器(一名テンピ)

在來のテンピと異り頂上に火を要せず焜爐の火のみにて輕便迅速に和洋割烹に最適當の器なり、大器二圓七十錢 中器二圓廿錢 小器一圓七十錢

(說明書往復はがき)

東京市日本橋區蠣殼町二の一五
名和商店
電話浪花二一七七 振替貯金一〇二五四

到る處(金物店洋食器店)にあり

めりんす友染
古渡り唐ざん
おたなや式格安物

東京日本橋人形町通りよし町
赤のれん おむなや本店
電話浪花四三四三

宮内省御藏版

書道の珍書豫約出版

原本 帝室 御物

本書の原本は本朝書道三蹟の一たる藤原行成卿の眞筆に係り古來嘖々として喧稱せらるゝ名帖にして帝室の御物中にても頗る貴重なるもの也、行成卿の書道に於けるや實に始めて和樣を大成せし一人にして、その水莖の跡の優にやさしく氣品高雅なる趣は古今多く其比を見ざる所にして、誠に日本書の妙詣極致なり、されば畏くも帝室にてはこたび之を内親王殿下がたの習字の御手本に用ゐさせたまはむが爲めに若干部を印刷に附せらるゝことゝなり弊院特に之を調進するの光榮を荷へり、仍りて別に數百部を增刷して世間の學者、歌人、乃至好古書家及び書道研究家に殊に又殊に習字に志す者の爲めに無二の手本たらしめむが爲め特に御許可を得て玆に本書の豫約出版を爲さんとす、大方の淑女令孃がた、その色紙短册乃至消息の書風に一層の美を添へられんが爲めに必ず本書の一部を机上に備へらるべし

書册の大さ=縱凡一尺、橫凡六寸◎紙數=二百二十四頁◎製本種類=上製、並製の二種とし、上製は最上和紙に印刷し純子の表紙を附して大和綴させるもの全一册、並製は西洋紙上質に印刷し假綴させもの拾册に分て發行す

定價=上製全一册=金拾五圓◎並製全拾册=金拾貳圓五拾錢、但し各册分賣なれば一册金壹圓參拾五錢宛

特別減價=本月中に御申込の分は左の特別減價を爲す◎上製=申込と同時に前金御拂込は金拾貳圓五拾錢、各册引換拂は金拾參圓五拾錢(外に東京市外は荷造遞送料金四拾五錢)◎並製=御申込と同時に全部前金拂込は金拾圓、各册引換拂なるときは壹册金壹圓貳拾錢宛(外に荷造遞送料各册金貳拾錢宛)

發行期=本年十一月二十日發行し御申込順により發送す◎申込期限=十月三十日迄

發行所 東京市京橋區新肴町十三番地 審美書院 (電話京橋三〇五五番)

◎本誌購讀諸君に限り特に十一月十五日迄前記の特別減價にて貴需に應ず

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十一月一日より五日間

第七回新形發賣紀念大賣出し

光琳式模樣花緒附

新案男女遠山形表附　金二圓也　金一圓七十錢

當日は餘興として金一千圓の福引景品呈上

光琳式模樣蒔繪附七五三御祝用各種取揃有之候

東京淺草芽町

香取屋本店

電長下谷千百九十二

地方より御注文の分に限り景品として餞形直履呈上（輸送引換小包便）

○色白く艶をだす最良之化粧石鹸（大形廿錢小形拾錢）

松澤ホーサン石鹸

○到る所に販賣す（にせ物あり松澤ホーサン石鹸と御買求を乞ふ）

東京本石町四丁目　光香藥種問屋　ムスク香水本舖

松澤常吉

（振替貯金口座四四七番）

岩佐病院　日本橋區蠣殼町二丁目廿三番地（電話浪花六九七番）

診察時間　自午前九時至正十二時

内科婦人科　院主　岩佐純

内科　院長　ドクトル　岩佐新

外科　醫學士　山村正雄

産科婦人科　醫學士　西村漸

腦病脊髓病　醫學博士　土田卯三郎

内科外科産科

婦人科耳鼻科咽喉科

皮膚科梅毒科泌尿器科

各専門分擔

芝愛宕町

東京病院

電話新橋一三六四　一三六二〇

院長　醫學博士　男爵高木兼寬

産科婦人科専門

淺草區左衛門河岸

電話下谷一〇二八

診察毎日午前　入院隨時

岩田病院

産科婦人科天本醫院

今般小生儀醫科大學産科婦人科教室勤務を辭し本院に於て專門の診療に從事す

下谷區仲御徒町二丁目卅五番地

入院隨時（故丸茂文良氏跡）

院長　醫學士　天本治

妾事衛生に注意致し居りしに不思議や毛も濃くなり生へざりし所へ從兄が遠方より買求め呉れた奇薬を付けしも何等の効能もなかりしに其後此のはな藥を用ゆるに至り...

人より奇薬を得薄毛も濃くなり生へざ迄毛生し婦さの餘り困る方に分與せし百有餘の禮狀を受け不思議のまゝ尚困難へ告ぐ三錢郵券添御照會あれ：：：

東京々橋越前堀一ノ四　河村愛子

妾事毛髪薄く種々の藥を試みしも効なく醫學博士夫人某所三者

肩掛及冬物着物揃

貴婦人用裝飾并に御携帶品各種

東京銀座三丁目

伊勢與　三枝小賣部

電話新橋三九二七振替口座九一〇〇

警告!!

類似摸造品數多あり甚きは其包裝まで摸倣したるものもあり注意!!

タカヂアスターゼ

●澱粉不消化　消化不良に原因する胃腸病中其七割五分は澱粉不消化に起因するとは歐米の統計が明示せる所なり肉食人種に於て已に斯の如し然るに本邦人は專ら米飯を以て常食と爲すが故に脂肪と蛋白質は泰西のそれに比して少きも澱粉質に至つては甚だしく多量なるを見るされば消化不良中澱粉不消化病の吾國に多きは當然の事といふべし從つて唾液の作用を補佐して澱粉をよく溶化し又糖化する藥品タカヂアスターゼは吾人が常に缺く可からざる藥劑なり（説明書は直接發賣元に要求せよ進呈す）

東京市日本橋區南茅場町二番地

三共合資會社

女子文壇定期增刊

●立田姫

十一月十五日發行

價拾錢　送壹錢

目方ウリ大俵炭

かます入　堅土釜切炭

神田三崎川岸

戶塚商店

電本參貳〇八番

内科一般

東京神田美土代町三丁目十九番地

午前宅診　午後往診

板垣亨

電話本局貳千九百七十番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

洗用ワッセル

◉此ワッセルは油じみ油あか如何なる汚れでも揉ずに必ず落る石鹼曹達の如く布を損傷せず染色を褪さず費用と手數を省く經濟上有利なる日用品であります
◉用法は湯一升に二匁（小杯へ半分餘）の割合にて溶解し洗濯物を凡二時間浸し後湯又は水にて洗へば自然に脱ますシャツの如きは（拾貳号）入一本にて貳百枚は必ず洗へます御婦人の髪は一匁五分を一升餘の湯に溶し拭してかもじを洗ふ樣に揉ずに洗べし左れば玉子で洗た樣になります又食器臺所道具の拭き掃除にも有効です

定價　拾貳号入 金拾五錢　袋入二錢　六号入 金八錢

東京市京橋區三十間堀三丁目電話新橋一七一二
英國製ワッセル日本一手販賣元
御肌洗ひこ芳香ワッセル製造元
三友商會

美顏料

色黒き人に告
肌を艶白たらしめんと欲せば牛乳浴牛乳浴に勝るは
クリーム石鹼
定價　小形十五錢　大形廿五錢　特 五十錢
香氣馥郁として香水匂袋の代用をなす
輸入元 オーケー商會
東京神田久右衞門町

西川製　オルガン
目錄進呈

樂器 十字屋 書籍
振替貯金口座七一五八
平圓盤發音器
東京銀座

院長 醫學士 鳥山南壽次郎
鳥山内科院
午前診察 京橋區鎗屋町十一番地
午後往診 電話新橋千七百四十六番

内科病特に腦脊髓神經疾患
院長 ドクトル メヂチーネ 峰秀世
峰内科醫院
神田區西今川町三番地
（電話本局三〇一九）

○院長 ドクトル 木村順吉
婦人科産科 木村病院
京橋卅間堀一丁目角（電話新橋二六七〇番）

水原産科婦人科病院
○神田猿樂町十二番地
○電話本局産千八百九番
○院内ニ産婆學校アリ

耳鼻咽喉 病診療
入院應需
淺草區向柳原町一丁目二番地左衞門橋通り
中村醫院
電話下谷壹三〇

鼻は百病の器

腦病に服藥は大敵である!!!

鼻ほど恐いものはありません『鼻は百病の器』とは、最近醫學界の一大發見で、試みに口を閉て呼吸して御覽あれ、腦病、神經衰弱、ヒステリー病等一般神經系病の病ある人には必ず鼻腔内に異常あることを感じます、之には服藥が反て害を爲します、然らば如何せばよろしきやといふに、この病原に塗布して根を絶す藥があります、其名を腦鼻液と稱し、福岡醫科大學教授久保醫學博士、東京耳鼻咽喉科院長金杉醫學博士が新聞紙上で發表されました新治療法に基いた藥であります、一度之を用ゐなば忽ち頭痛眩暈が止み、忽ち頭腦明晰、思考力記憶力が増し精神爽快となり喘息、癲癇を根治し、音聲まで美しくなり人生の樂園に活動の出來る人となります（文章盜用嚴禁）

腦神經系病專攻
福岡利三先生發明

腦病新藥 腦鼻液
日本政府登録商標

（主治効能）
腦病、神經衰弱、ヒステリー、喘息、落第勝なる學齡兒童、癲癇、不眠症、頭痛、肩の凝、記憶力乏弱、中風、眩暈、不姙症、顏面神經痛及麻痺、肥厚性鼻炎、鼻耳、鼻加答兒●本劑には特に其攝生法を明記添附す
一劑（廿五日分）二圓　半劑（十二日分）一圓（内地送料不要臺灣滿韓樺太金三十錢）

製劑本舗
鼻の藥元祖
東京日本橋區濱町二丁目大川端
振替貯金口座第一一九九四番
壽仁堂藥房

◉偽物有之候に付登錄商標（鼻）と（腦鼻液）に御注目あれ

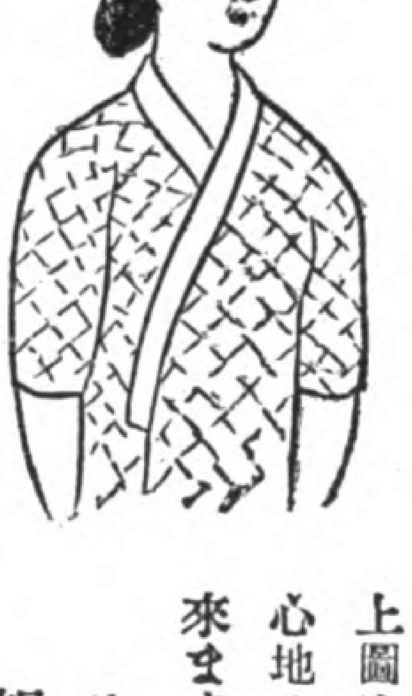
専賣特許及實用新案登錄
衣裳中入 吹留眞綿
三越呉服店白木屋呉服店にて實地使用販賣
其他重なる呉服店綿店にて販賣致します
最上等の眞綿製其の暖さと强さは普通眞綿の二倍余を保ち古抜綿に比べ清潔にして衞生によく其のまゝ着物にはいる樣に出來てをりますから御一人でも自由に御取扱ひができます
男女着物羽織共定價七十錢、九十錢、一圓十錢、一圓卅錢　郵稅八錢

吹留眞綿

寒さ知らず
洗濯の出來る 眞綿細工 腹卷。腰卷。股引。肌襦袢。チヨッキ。

御婦人腰卷

御婦人はだ着



優良の藥入眞綿製冷より來たる男女の一般病によく特に産前産後の方によき事は醫師産婆の證明する處です
定價腹卷壹圓五錢特製壹圓五十錢腰卷一圓六十五錢特製貳圓以上郵稅共
上圖は製法薄く召した姿たもよく暖さと其着心地は無上の品にして殊に幾度びか洗濯が出來ますからいつも奇麗てをります
定價並製二圓五十錢特製三圓
報知新聞代理部にても販賣す

實證は毎夜就寢後二四回便通ありし人此腹卷を用ひし所以來安眠する事を得日に健康を増されつゝありと云ふ生を希ひ兒女を望む方は攝生療養上の必要品なり

⚪︎眞綿打綿問屋
東京市京橋區銀座四丁目
振替口座九四三二
電話新橋一七七六
大和屋商店

㈱眞綿打綿絲問屋
東京芝區西久保葺手町
電話新橋一五四九
さかいや商店

綿眞綿打綿問屋
東京本郷區本郷四丁目
振替口座四七八六
電話下谷二六五九
桝屋商店

○受賣御望の御方は特約店へ御申込を乞ふ

愛國婦人廣告取扱
京橋區數寄屋橋外 弘報堂
神田三河町 博報堂
京橋區南紺屋町 一星社
京橋區南鍋町 秀逸社
日本橋區上槇町 萬年社
日本橋區蠣殼町 春風舍
京橋區宗十郎町 正路喜舍
京橋區日吉町 帝國通信社
同區彌左衞門町 京華社支店
同區南鍋町 廣告社

明治四十一年十一月三日發行（毎月五日廿日二回）（定價金三錢五厘一ヶ月七錢郵稅不要）（廣告料一行金六拾錢）
發行兼印刷人 山澤俊夫
編輯人 永持德一
發行所 東京麴町區飯田町 愛國婦人發行所
發賣所 同 京橋區南鍋町 株式會社隆文館
印刷所 東京市牛込區市ヶ谷加賀町秀英舍工場

附錄 愛國婦人會記事

本會記事

■中山評議員の逝去　本會創立當時より評議員の職に在りしこと玆に八年其間卒先努力盡砕せられし本會評議員佩特別徽章中山幸子刀自は本年春より腸を病み病床の人となられしが遂に去月十八日午後一時腸閉塞を以て永眠せられたり自刀の略傳及葬儀の狀況は別項に記す

■野津元帥の葬儀　本會評議員野津侯爵夫人良人元帥野津侯爵去月十八日薨去に就東鄕評議員は會長の弔詞を齎し同邸へ赴かれたるが廿三日葬儀當日本會を代表會葬されしは寺內、清浦、丹羽、宇佐川、松村、阪井、千家、關、豐島、高橋、長岡、澁谷の各評議員及東京支部幹事本會事務員等なりき

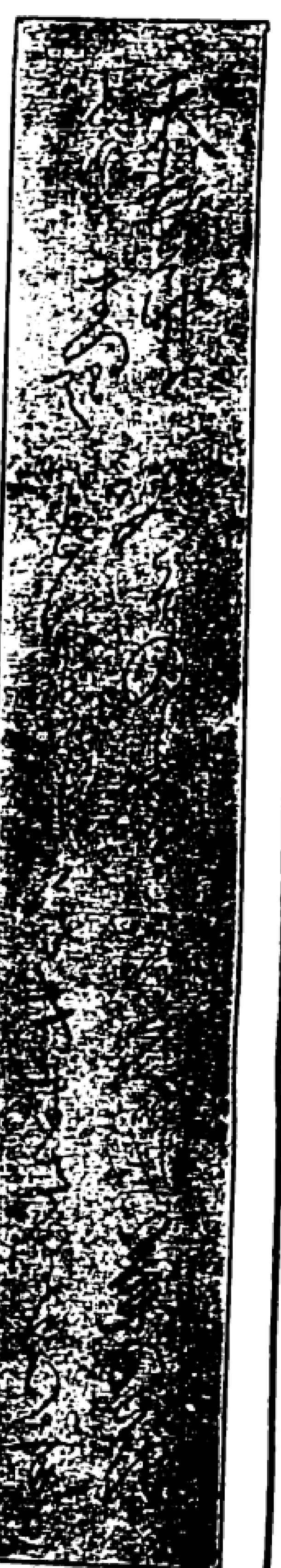
故中山幸子刀自

本會の主唱者奥村五百子刀自逝きて後未だ二年にも滿たざるに本會創立當時より評議員の職に在ること八年其間卒先會務擴張の爲め努力盡砕せられし中山幸子刀自は一代の女傑として世人に惜まれつゝ六十八歳を一期として永眠せられたり。

■刀自の父兄　刀自は鹿兒島縣士族蜷川根季重氏の末女同苗良吉氏の令妹にして天保十二年一月二十日丹後宮津に生る。父季重氏は漢籍に長し丹海と號し地方に名聲あり。令兄良吉氏また英書に通じ砲術の心得深く嘗て江川太郎左衛門家塾の教師となり薩州侯の海軍教授方に擧げられ藩政に參與せる當年の勤王家たり

■刀自の良人　亡正六位中山信安氏は舊幕臣中山內匠の二男にして、文武兩道に長け故福澤諭吉、長與專齋、木戶孝允、大村益次郎、大鳥圭介等諸氏と共に大阪なる緒方洪庵氏の同塾生にして維新の際佐渡組頭、御藏奉行、鑛山取締の職に在り、次て佐渡縣權判事に任じ明治五年より同九年に至る間新潟縣權令、茨城縣權令の職にありしが其後官途を辭し湘南酒匂に晚年を送られしが明治三十三年六月病を以て遠逝、幸子刀自は其交より未亡人として愈よ盛に世の爲め慈善の爲め奔走するに至られしなりき。

■中世の刀自　劍道に達し薙刀に長し和歌と漢文の嗜好淺かりし刀自は刈菰と亂れに亂れたる世に良人と共に幾度か生死の間に往來せしが、其間絕食自殺して良人を助けんとせしこと、砲煙彈雨の間を過ぎ屢々生首串刺の悽愴たる光景に接して誰何されし折劍の尖に饅頭を突き差し此饅口にせよと賊軍の云ふがまゝ其饅頭を口にせしこと、上野戰爭當時江戶の情況を佐渡なる良人の許に報ぜんと使者の菅笠の頭に密書を縫込み數回往復せしめたること、明治二年中令兄の遺兒不二郎を迎へんとて橫濱より英艦ヤンシー號に乘らんとして裁判所に引致を受け理非を法庭に爭ひ釋放されしことなど、數へ來れば幾多の逸事あるべし。



刀自晩墨

■後半の刀自　既に良人を亡ひし後の刀自は牛乳牧場の開始子女の教育等に一身を委ね五十一歳の時より始めて慈善事業に餘生を送らんと決意し我愛國婦人會の如きも創立當時より刀自は奥村刀自と相並び種々畫策する處ありしは人々の洽ねく悉知せる處なるが尙婦人共立育兒會の如き全く刀自創設に係ると云ふ。其他日本赤十字社篤志看護婦會、佛教婦人會婦人法話會等あらゆる婦人會に評議員となり幹事となりて重視せられしは葬儀當日各婦人團體より多くの熱誠をこめたる弔詞の捧げられしによりても證明し得べしと信ず。尙刀自は功勞に依り　總裁殿下より左の如き御賞詞を蒙れり。

本會評議員及東京支部評議員並に同支部幹事囑托以來專ら事業の擴張に盡瘁し多數の入會者と許多の寄附金者とを紹介せられしのみならず自ら寄附せられし所の金員亦最后一千圓余に至る熱誠一貫其成績群を拔くと謂ふ可し依て特に謝意を表するものなり

總裁宮　御署名

■刀自の葬儀　去月十八日刀自逝去の報に接するや山脇評議員は弔詞を齎して其邸へ赴かれしが同日より二十一日葬儀當日に至るまで本會事務員は同邸に赴き葬儀準備等の手傳ひを爲したるが葬儀は二十一日午后一時同邸出棺谷中齋場に於て執行されたるが當日は本會々長、評議員、參事、會員諸氏事務員其他有志者葬に會するもの約六百名、愛國婦人會側よりの贈花のみ數ふるも本部及東京支部より生華各一對、參事會員及評議員一同より生華二對、東京支部中麴町、京橋、赤坂、四谷、小石川、下谷、牛込、日本橋、深川、麻布、芝等各幹事部より生華各一對、尙會に關係ある有志よりとして岩倉、近衞、島津三公爵家、岡部、谷兩子爵家、佐藤正、堀內文次郎の諸氏、並びに本部事務員一同及東京支部事務員一同より各生華一對の多數に上り其他諸慈善團體等よりの生華を合すれば枚擧すべからざるの多數を算へしに依りても如何に葬儀の立派なりしか又如何に多く世の人々より哀悼せられしかを知るに足るべし。

故中山幸子刀自

■當日の弔辭　刀自の永眠を悼み至誠を罩めし弔辭を寄せられし團體及び個人頗る多かりしが今其重なるものを掲ぐれば左の如し。

本會評議員佩特別徽章中山幸子殿天資愛國慈善の念厚く本會創立當時より評議員の職に在ること玆に八年間卒先自ら多額の金員を寄附し且つ會員幷に寄附者の勸誘に努めらる又日露戰役に際しては寒暑を厭はす軍隊の送迎遺族慰問等其會務に盡されし効果は枚擧に遑あらす今や會運日に盛んなるも前途尙ほ其盡瘁に須つもの多かりしに哀哉溘焉不歸の客となる本會のため實に哀惜して措く能はさる所なり玆に
總裁殿下の台聞に達し久子等謹て弔詞を贈呈す
明治四十一年十月十九日
愛國婦人會長　公爵夫人岩倉久子

○

愛國婦人會東京支部評議員兼幹事佩特別徽章中山幸子は支部創立以來赤誠以て克く會務擴張に盡力せられし結果今日の隆昌を見るにいたる實に其功績尠少ならすとす今や一朝病痾に犯られ藥石驗なく終に逝去せらる豈痛惜の至に堪へんや玆に龍子支部會員二萬七千餘人に代り謹しく弔詞を呈す
明治四十一年十月十九日
愛國婦人會東京支部長　阿部龍子

○

風日蕭しむ中秋の天本會は創立會員中山幸子刀自を失ひぬ仁慈深く淑德高き刀自つとに幾多の慈善事業に心をそめられわけても本會の爲めには多大の熱誠を注がれしものを噫享年六十有八顧へば短かりし御齡かな今その逝去にのぞみ生前の功績を追懷して哀悼の涙とどめ難く玆に弔意をのぶ
明治四十一年十月二十一日
淑德婦人會長前子爵夫岩倉棱子

○

本會名譽會員中山幸子刀自の逝去を悼み謹しく弔詞を呈す
明治四十一年十月二十日
大日本歌道奬勵會侯爵鍋島直大

○

本會婦人部委員中山令夫人の逝去を哀悼し謹しく弔詞を呈す
明治四十一年十月二十日
帝國海事協會理事長
從三位勳一等男爵有地品之允

○

本會評議員中山幸子君の逝去を哀悼し謹て弔辭を呈す
明治四十一年十月二十一日
東洋婦人會

○

嗚呼中山幸子刀自逝きぬ仁慈深く婦德高かりし刀自は六十有八を一期として紫雲高く塵外ゆかしきあたり彌陀の來迎をうけ給へり積まれし德のこされし績に九品の蓮座は安らけくいまさるべきも後にのこれる我等年ごとの月ごとのまとゐも溫顔に接しまつらむこと千秋万年も甲斐なかるべし噓花は笑み鳥は歌ひし春のまとひも熟眠を醒れ給ふ事叶はでいたつきの御枕頭しと聞きしより皆人あけくれに只うれしき御うたげの日を指かゞなへて待ちしものを今ははや歸らぬ路の人となり給ひしよなあゝ時しもあれや千町の小田に稻葉の風は波よる秋あゝかなしいかないたましきかな
刀自は丹後宮津の人早く夫に後れ心を慈善に注がれしなかにもわが校にゆかり淺からぬ淑德婦人會には創立幹事として十有餘年一日の如く渾身赤誠をもて無窮隆盛を期し給ひし海山の御厚澤うれしわれらつかの間もわするべしやはわするべきいでや智をみがき德をつみ刀自を鏡に世に立たん今日の悲しき御式にはらひあへぬ涙を袖になしつゝみてかく弔し奉る
明治四十一年十月廿一日
淑德高等女學校　生徒總代

伊勢の御中をかしこみて　中山　幸子
大君の大御心をよせられてあまてらす神もいさみますらむ
東宮殿下の進水式をかしこみて
みてつからつなときたまふ綱おろしいかにうれしくおほしめすらむ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

中山幸子女史を悼む

—十月廿一日會葬の夜認む—

本會顧問　堀内文治郎

さなきだに物憂き秋の夕暮、歸らぬ旅路に逝かるゝ女史を谷中墓畔に送りて、我人共に松の雫に袖ぬらしつゝ、淋しく歸る胸の裡よ。語らんとすれど答へぬ女史の俤まのあたりおぼろげに見えて、温容而も心の中に冒すべからざる懐劒を納むる如き大和撫子の好模範、義を見ては水火も辭せぬ女丈夫の、溢るゝ許りの温情を懐きて常に慈善事業に盡瘁せられたる女史の精神は、長へに愛國婦人會に、育兒會に、將た淑德女學校に遺り傳はりて日本國の前運に利益を與ふること幾何ぞや。

私は愛國婦人會顧問として實に女史を賴みとせり。否こは私のみにあらじ、總ての方々女史に俟つところ如何に多かりけむ。日露戰役間雪の朝雨の夕べも厭はず、病軀を推して奔走盡力せられたる女史の赤誠、本會の爲には何事をも何人に向ても、直言諱まず論破せられたる忠實心よ。彼を思ひ此を想ふて私の心は亂れんとす。

女史よ安心して瞑せられよ。女史と志を同うし、女史と等しく本會の爲に盡瘁せらるゝ夥多の赤誠忠實の女史ありて存ず、女史よ安心して冥せられよ。嗚呼。

支部近況

▽福島支部遺族癈兵慰問概況△

安積北會津、若松市の遺族癈兵慰問として山上評議員及び佐藤事務員を随へ九月十六日出發同日午後若松市へ着きぬ十七日には慰問會を若松市會議事堂に開く會するもの竹田幹事部長松本顧問幹事一同及び幹事部事務員其他大沼郡富田幹事部長北會津郡小松幹事部長并に事務員尙ほ同市在住の遺族癈兵十四名集合したるを以て懇篤叮嚀に本會の趣旨を普及し又一々本人死亡後の生計并に職業の狀態等に付懇切慰藉するところありしが一同感涙に咽び感激面に顯はれたり尙ほ遺族癈兵には菓子折一個づゝ惠與し茶話會を開きたるに互に談笑し中には戰爭當時の狀態を述懐して一同嬉々として歸途に着きたり終りに望み竹田幹事部長以下には本會擴張に付未納會費の整理方法及新會員募集等に付懇篤諭示し午後三時散會せり

午後三時三十分より北會津郡の遺族癈兵慰問の爲め小松幹事部長を随へ各戸に付慰問したるも概して貧困者のみ多く中には戰死若しくは不具者となりたる爲め益々赤貧に陷りたるものもあり尙ほ菓子折一個づゝを惠與し懇切慰藉する所ありしが潸然感涙を禁する能はざるものありし

九月十八日午前十時より安積郡の慰問會を同郡役所樓上に會催したり池上幹事部長同顧問并に幹事一同及び遺族癈兵五十名出席したるを以て若松幹事部同樣懇篤叮嚀慰藉したるを以て大に感涙に咽びたる有樣なり又本年度定期救護金方は此期を利用し夫々辭令書を其本人に下付し後ち能く其救護金下付の事由本會の趣旨を諭示し又顧問より救護金の費途及び其趣意を反覆口示したるを以て何れも感激面に顯はれたり終つて遺族癈兵一同に對し菓子一個づゝを惠與し茶話會を開きたるに一同嬉々として互に談笑の内に本會の趣旨に對し大に感謝の意を表し徐ろに歸途に着きたり引續き役員會を開き本會今後の行動并に　總裁宮殿下の御諭旨を反覆口示し今後の擴張に付き新會員募集方法未納會費の整理方法等に付協議し午後二時三十分散會せり

▽佐賀支部藤津郡五町田村委員部第一回總會之報告△

九月十九日藤津郡五町田村に於て愛國婦人會五町田村委員部第一回總會開催に付支部長代理として參列候處其狀況左に

會場は同村光桂寺を以て之に充て會する者參拾壹名なり當日は朝來の降雨殊に同村は半面以上山間部に屬し總會員九拾四名の内過半は山間部の居住者たる爲め出席者余想外に少數なりしは誠に遺感なりし午後二時開式其順序左の通り

第一委員村長峯松龍次郎氏開會の辭及會務の報告第二支部長の祝詞（山村事務員代讀）第三山村支部事務員愛國婦人會の起原より其成立及本會并支部救護の狀況を報告し併て會費の滯納なく益本會の爲め盡力せられんことを注意す　第四藤津郡幹事部顧問梁本幾乘氏婦人の國家に盡すべき本分を解說して本會の爲め盡力せんことを警告し第五に郡鹽田高等小學校長宮崎藤一郎氏家庭の意義と國家の關係を詳述して本會の主意に及し第六光桂寺住職は實例を擧げて婦人の美德を說き一轉して軍人遺族の狀體を述べて婦人會救護事業の必要を說示し第七閉會後本會の將來に就き協議する所ありしも時既に五時を過ぎたるを以て協議は後日に譲り散會せり當日は參列會員少數なりしも顧問初め諸氏の婦人に適切なる說話なりしを以て始終傾聽大に感動を與へたり

▽島根支部安濃郡幹事部第一回總會之景況△

一、式場の設備　式場は郡立農業學校を以之に充て立網方二間の處に座張を爲し白布を覆柱は惣て杉葉を以包み天井には紅白の布を張り中央には花球を釣り周圍には紫縮緬の幕を張り活花一瓶を置きたり　總裁殿下御寫眞は最上段適當の場所に八脚机の上に安置し上下周圍等惣て白布を以て裝飾し正面には純子の幕を張りたり來賓其他一般參列員の席に幅八間長十間を劃し紅白布を以て天幕となし周圍に萬國旗を掲げし柱及塀等は惣て杉葉又は紅白布を以て包み入口には大國旗と會旗を交叉し本校の正門及通用門は惣て杉葉を以て包み緣門となせり

二、式次及式場の配置は略す

三、支部職員の臨席　支部長不在副長故障あり代理として評議員森脫丸榮參與和田潤主事中村秀年臨席したり

四、來賓其他の參列者左の如し　貴族院議員、衆議院議員、縣會議員、佩有功章者、警察署長、農業學校長、大田町小學校長、各町村長、日本赤十字社島根支部常務幹事、特別會員、軍人遺族癈兵等

五、會員の出席數貳百七拾六人　但當時本縣下三瓶原にて演習中の騎兵第五聯隊突然演習しつゝ來り隣村刺賀波根西兩村に舍營せし故之れが爲め多數會員の缺席せしは頗る遺憾とする處なり

六、來賓其他の待遇　來賓には惣て各休憩所に於て茶菓を進め尙主立ちたる向には總會終了後別に酒肴を饗し紀念品（一閑張本會徽章入小箱、亂菊形菓子三ケ入一箱づゝ）贈呈せり　遺族癈兵には休憩所に於て茶を進め慰問料（金五拾錢）と紀念品を交付せり　一般會員には茶を進め紀念品を配布せり

七、幹事部の狀況報告略す

八、總會の紀念事業　常幹事部會は第一回總會の紀念として擧て養蠶することを奬勵する目的を以て印刷物を配布せり

九、功勞者の表彰　特別會員幹事男爵夫人金子瀧子氏は夙に本會主旨の普及を圖り自ら奔走して會員の勸誘に力めたるに依り支部長より慰勞として金製指環を贈與したり

十、餘興　開會前後は絕へず大聲平圓盤を奏せしめ又烟火數發を打揚げたり

▽和歌山、支部和歌市幹事部總會概況△

愛國婦人會和歌山支部和歌山市幹事部總會は本月十四日同市女子高等小學校内に開催せられ午後二時第一號砲に依り來賓及各會員着席引續き嚴肅なる式を行ふ伊澤支部長の告詞加藤幹事部長の答辭及兒玉主事の演說あり午後三時閉式し第二號砲に依り同段運動場に設けある園遊會に移り手品手踊箏數番の餘興あり來會者四百餘名支部相談役たる茨木男爵同夫人は來賓として臨まれたり場内模擬店も各所に設けられ會員へ之に集合するもの少なからず設けの食堂に就きて擧杯前加藤幹[illegible]部顧問の發聲にて　天皇陛下皇后陛下を初め奉り總裁殿下の萬歲を三唱して歡呼聲裡に立食饗座は終る紀念品として當地方主要物產たる漆器蒔繪付小盆を配付せり餘興終を告げ會員全く退散したるは同七時にして婦人團體の集合としては近時稀に見る盛況なりき

愛國婦人會會員女子人口比較表

明治四十一年九月末日現在

支部名	特別會員 終身	特別會員 年賦	特別會員 計	通常會員 終身	通常會員 年賦	通常會員 計	合計	卅六年末女子人口	女子人口百人ニ付會員比例	賛助員
山口	二八一	九六四	一、二四五	一、〇四三	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
石川	五一七	一、四五五	一、九七二	三七九	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
山形	一六九	八二八	九九七	六一三	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
廣島	四四一	二、〇一六	二、四五七	一、一二六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
愛知	四八七	一、一〇三	一、五九〇	一、八四三	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
福岡	三〇七	二、四〇九	二、七一六	六九五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岡山	二三六	八八六	一、一二二	四二八	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
兵庫	五四六	一、七三七	二、二八三	一、二六四	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
島根	一〇八	三三七	四四五	三五一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神奈川	四〇四	一、三五二	一、七五六	七四四	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
京都	四六五	二、一一五	二、五八〇	三七六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
愛媛	九四	四六七	五六一	五三〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
富山	一二四	九〇一	一、〇二五	一九〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北海道及函館	三八一	二、九三四	三、三一五	四八一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
香川	二一六	五九九	八一五	五二九	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
熊本	二八〇	二、六四七	二、九二七	四一二	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
青森	二一三	一、一五三	一、三六六	三七五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
秋田	二二三	六二七	八五〇	四七五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
群馬	二一七	一、二六八	一、四八五	一八八	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
宮崎	七九	三三四	四一三	一六五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
長崎	一、二六五	二、三一九	三、五八四	一、一二七	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
佐賀	一二九	七八二	九一一	一四一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
福井	一二一	七一〇	八三一	三〇八	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大分	一二四	七三三	八五七	二六九	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
栃木	一六〇	七二六	八八六	三八五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
宮城	一九五	一、一九二	一、三八七	二〇五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
長野	一八二	一、二八五	一、四六七	八四八	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重	一一六	三一一	四二七	五三二	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岩手	七七	五八六	六六三	一七七	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東京	一、四〇九	七、七五九	九、一六八	一、一〇八	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪	六二八	二、七九四	三、四二二	八二一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
奈良	三六	二五三	二八九	一三九	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
德島	八一	二八一	三六二	三八六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
福島	二七四	一、〇七七	一、三五一	六四六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
靜岡	一四六	五七九	七二五	六九五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高知	三七	二一五	二五二	三二四	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鳥取	四六	一八六	二三二	九二	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
千葉	一七三	八四五	一、〇一八	四八二	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滋賀	一二〇	三四一	四六一	五一三	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
茨城	六八	四六四	五三二	二五八	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
山梨	五九	三三八	三九七	一八五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新潟	二七九	九三六	一、二一五	七三〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
埼玉	八三	二九六	三七九	四四五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鹿兒島	一三二	一、〇八二	一、二一四	一八〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
和歌山	五八	二五七	三一五	二〇〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
臺灣	七六八	七一九	一、四八七	三、〇一五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岐阜	一〇六	六九六	八〇二	一七四	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
沖縄	四一	三〇九	三五〇	四五	一、七五七	一、八〇二	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
韓國	―	一、二一二	一、二一二	―	一、九八六	一、九八六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
海外	二一三	四七	二六〇	六八	二五	九三	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	一二、九〇四	五五、四五七	六八、三六一	二六、六〇九	六四六、四二八	六七三、〇三七	七四一、三九八	二五、三一三、〇四〇	二、九三	一、五四八

備考

（一）支部の配列は會員比例數の最も多きものより順次配列す

（二）北海道及函館支部會員數は合算して掲載せり而して函館支部會員數は特別五百廿九人（終身六十七人年賦四百六十二人）通常八百三十七人（終身八十人年賦七百五十七人）にして他は北海道支部の報告なり

（三）韓國支部の報告は終身年賦會員の區別なきに付假に年賦會員の欄に掲載せり

（四）海外支部の内北米合衆國桑港及シヤトル並に布哇國ホノルヽは報告未着に付之れが調査を缺く

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

各妃殿下

愛國婦人天長節號(百六十四號)附錄
明治四十一年十一月二日發行(每月定期五日廿日)

故山階宮妃殿下
伏見若宮妃殿下

東伏見宮妃殿下
梨本宮妃殿下

閑院宮妃殿下
久邇宮妃殿下

有栖川宮妃殿下
賀陽宮妃殿下

明治三十五年三月廿七日第三種郵便物認可
發行兼印刷人山澤俊夫 編輯人永持德一 發行所愛國婦人發行所

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN